

JARO XIII

N-RO 2

エスペラント研究雑誌

FEBRUARO

1932

# LA REVUO ORIENTA



JAPANA ESPERANTO-INSTITUTO



# LA REVUO ORIENTA



目	次
S-ro SUSUMU AIBARA.....	41
粟飯原晋氏を悼む.....	42
A(wa)ibara 君と私.....	川崎直一... 42
ハンガリヤの名士粟飯原君.....	石黒修... 43
Budao に就て (2).....	岡本好次... 44
質疑應答.....	小坂狷二... 48
再歸代名詞を中心として.....	高橋運... 50
作文添削.....	大橋介二郎... 53
檢察官 (註譯).....	小坂狷二... 56
日本エス運動の現況.....	川崎直一... 58
所變則品變.....	小坂狷二... 59
新刊紹介.....	60
Scienca Kroniko.....	小野田幸雄... 62
Du Kripluloj (2).....	高石綱... 65
海外報道.....	小野田幸雄... 67
内地報道.....	露木清彦... 69
初等讀み物.....	小野田幸雄... 75
日、月、星辰 (作文).....	小此木貞次郎... 77
荒城の月 (唱歌).....	小坂狷二... 79
表紙カット 露木清彦	其他カット 青島友美

## ★ 常設初等講習 ★

開講 四月、七月、九月、一月  
 期間 二ヶ月  
 時日 毎週月、木 兩日午後七時  
 より二時間宛  
 月謝 一ヶ月一圓、全期二圓  
 場所 當學會事務所階上に於て  
 初等修了後希望により補習、中等科開設

## ★ 例會・研究會 ★

毎週水曜 19 時より

(年中無休)

19 時 20 分より 21 時迄.....輪講

用書: ザメンホフ讀本

21 時より.....茶話會

輪講中細密な語法の講義、茶話會では唱歌の練習あり、毎回出席者多數愉快な會合で非常に爲めになります。出席歡迎。



## S-RO SUSUMU AIBARA †



En la nuna tempo, kiam nia afero staras ankoraŭ en la stadio de propagando, perdo de iu kunbatalanto el nia tendaro estas tre dolore sentata, precipe, kiam li estas tre lerta kaj sperta gvidanto de la movado.

Mortis ankoraŭ tre juna, 31-jara, nia tre ŝatata batalanto Susumu Aibara, konsilano al Japana Esperanto-Instituto kaj konstanta kunlaboranto de la Revuo Orienta, tute subite kaj de neniu atendite pro malsano la 20-an de Decembro lastjara.

Li fondis en 1921 Esperantistan grupon en Keio Universitato, kiam li estis ankoraŭ en la duajara klaso de la prepara kurso al la Universitato.

Li ankaŭ fondis Keio-filion de Japana Asocio por la Ligo de Nacioj kaj instigis la Asocion aranĝi Esperantan kurson.

Tuj post la fino de la universitata kurso li laboradis ĝis lia morto ĉe Japana Filio de la Ligo de Nacioj. Dume li daŭrigis sian energian, neniam lacigeblan klopodadon por Esperanto. Li do vivis kiel tute klare konscia servanto por la homama laboro — internacia organizo de la popoloj.

Milda, modesta, de ĉiuj amata viro li estis, kaj ni kredas, ke nia tuta membraro plene kun ni konsentas, se ni ĉi tie esprimas nian elkoran kondolencon al liaj postlasitaj edzino kaj ĵus naskita filino, kiuj la unuan fazon en sia vivo estis trafitaj de la netolerebla malfeliĉo.



財團法人日本エスペラント學會評議員

## 栗飯原晋氏を悼む

多年エスペラント運動の爲め不斷の努力を惜まず活動せられてゐた栗飯原晋氏は客年十二月二十日忽然病のため長逝せられた。漸く盛んならんとするエスペラント普及陣營より眞に斯語に堪能にして將來を囑目された氏の如き好指導者を失つた事は我國のみならず世界の我事業のためまことに痛恨にたへぬ。吾人は茲に心からなる哀悼の意を全人類の名に於て同氏の靈とあとに残られたる若き夫人とお生れになつたばかりの令嬢に捧げる。

氏は明治三十三年七月十四日金澤に生まれ、後大阪に移り同地の北野中學を卒業された。たしか八木日出雄、植田高三兩氏とは同窓と云ふ奇しき縁がある。大正九年慶應義塾大學豫科に入學、翌十年六月慶應エスペラント會を創立、爾後講演會に、講習に堅忍不拔の努力をつゞけられた。大正十五年卒業に當り草せられた論文『バハイ運動に關する一考察』には Pri Bahaa Sociordo なるエスペラント書きの論文を附録せられた。けだし塾創立六十年以來前例を見ざる所である。

尙ほ國際聯盟との關係も早く、大正十二年塾内に國際聯盟協會慶大支部を創立し、又國際聯盟協會にエスペラント講習を開かしめた。卒業と同時に國際聯盟事務局東京支局に勤務、爾後六年間、世界人として活動せられ來つた。

エスペラント運動に對しては我が日本エスペラント學會委員、次で評議員として終始變らぬ盡力をつゞけられ、我が Revuo Orienta 誌上には毎月興味多き寄稿をたゞれず常に讀者をよろこばされた。

エスペラントの實用としては之を利用して日本人と民族的に關係深きハンガリーの研究に精進せられ我國に於て數少きハンガリー研究の權威として屢々雜誌圖書に寄稿せられてゐた。

氏の性格たるや麗朗玉の如く、寡黙にして實行を尊ばれ、氏に接した者は何人も敬愛の念を禁ずることが出来なかつた。その氏の訾咳に再び接することの出来なくなつた事は何と云ふ淋しい、悲しい極みであらう。(北原生)

## A(WA)IBARA 君と私

川崎直一

彼を最初學會え連れていつたのわ私である。私が早稻田の學生で、築地の稱揚寺の二階を借りていたとき(1920年の秋と思う)、前もつての問合せの通信の後(これわ誰かの紹介の結果であつたらしい)に夕がた訪問せられ(そのとき部屋の隅にあつた衣桁が彼の上に倒れかかつたことを覺えている;それから彼わそのと

き慶應の學生)共に電車で學會え行つた。電車中から『あそこが毎月の例會の場所です』と學士會(舊假小屋)を教えた。學會(新小川町 III 14 路次の奥の舊假事務所)の二階え私の後から續いて、あがつた。小坂さんが机のところにおられた。彼わ私の紹介を待たずにいきなり『私栗飯原で……』。小坂さん『ああ、先月か



御入會になりました……』……

ある年の夏休みに大阪高商で講習會をやつた。私わ中等科にあたつたがそれがまだ始まるまで數日以上あつたので、初等科の一部を受もつた彼の授業の參觀に行つた。室えはいつて一番後に腰をかけると、先生大いにあがつて、そのときなに事か生徒に教えた後に『そうですね!』と私に尋ねた。後で藤間君(講師の一人)が『栗飯原わ人が見にくると教えられん!』と言つたと私に傳えた。

その後數年たつてやはり夏休みに商陳で國際聯盟協會大阪支部主催大朝大毎後援のすばらしい大々的の講習會があつた。相坂さんが主として教え、高瀬君と彼が手傳つた。私わそのときすでに健康を害していたが、一日彼の授業を聞いた。四人連れでの歸り途、彼『人が見にくくと困りますね!』と。相坂さんあわてて『それわ全然知らない人のときで、親しい人わそうでないさ!』と。私わ例によつてだまつていたが、數年前の事をおもいだして『そらきた!』と思つた。

1931 年秋早慶戦すんで數日後彼の家庭をおとすれた。夫人のお腹の大きい事が私にもわかつた。晩飯をよばれた。まことに暖い氣持にひたつた。彼の家庭わ幸福そのもののようになつて、私わ喜んで大阪え歸つていつたのであつたが……。

## ハンガリヤの名士栗飯原君

石 黒 修

二三年前ある知名の人達の集りで久振りに偶然君に會つた私は、名士におなりですねと、冗談交りに云つたことがある。それはともかくとして私の知つて居る限りでは君位各方面の名士に知合の多かつ

た esperantisto は少い様に思ふ。

“La Revuo Orienta” に五六年來發表されて居るものを見ても判る様に非常に多趣味で博學であつた。これこそ君が多方面に知合を持ち、持つた原因であり、結果であると思ふ。TEK 幹事等にも全く適任者であつた。

六七年前から政治外交、並にハンガリヤに關する esperantaĵoj を蒐めたい——前者は勤めと研究、後者は趣味から——と云つて居た。一昨年私が歐洲へ行く時も繰返して頼まれた。

私がハンガリヤへ行くと、同志が殆ど皆君を知つて居た。何故そんなに君の名が親まれて居たか。私はブダペストの國民協會本部を訪ねて判つた。こゝにはハンガリヤに關して君が寄稿した日本やハンガリヤの新聞雜誌が陳列され、日本に於けるハンガリヤの理解者として敬意を表されて居た。(君のこの働きは亦ハンガリヤの Esp. 運動に大きな貢獻をして居ることを私は特記しておきたい)。私は早速ダニユーブ河畔のカフェで君へこのことを書いて送つたことを記憶して居る。歸來、數回會つても落着いて話す機會がなく、私が病氣で完全に罐詰にされた昨年(の)末、はからずも君の訃に接したことは返す返すも残念である。願れば十餘年の交り、思ひ出もつきない。

年若くして逝いた君に、同志とし、友として私達が期待して居たことはまだまだ多くあつた。否君自身もまだまだと思つて居たに違ひない。然し、その僅かの間に、Esp. 運動に! その他にかくも澤山の足跡を残した人が何人あるだらうか。ハンガリヤの國民運動の標語 Nem, nem, soha! (ne, ne neniam!) をもつて私達の君に對する追慕の詞としたい。



# Budao, Budeo, Buddo, Budho aŭ Budhao?

(II)

岡 本 好 次

併し dd と同一子音の重複することはエスペラント民衆の近來の傾向にそぐはないので一般には餘り用ひられなくなつて近年では Budho が割合に優勢であつた。即ち Heroldo その他の雑誌等の記事に於て Budho を見つける事が多かつた。一方 fonetismo からいへば “Buddha” は大體歐洲各國語に於ては “buda” の如く發音されてゐるのである。(上述の如く同一子音の重複は母音の長短に關係あるにすぎないし dh の音は近代歐洲語にはない音故これは d と同一に發音されるのだから)。即ち fonetismo の internacieco から云へば Budao 又は Budo (a を語尾として除き) となるわけである。

こゝで一言申し上げておきたい事は fonetismo の internacieco といつたのは一般に或る internacie に disvastigi された vorto が各國語で如何なる形で發音されてゐるかをしらべてその各種各様の發音の中の komuna parto をあつめてみた時にその共通の音的構成を fonetismo からみた internacieco であるといふのである。故に fonetismo の internacieco と云ふ事はその語の根元の發音(例へば Buddha ならその梵語としての發音)を意味するものでないのである。エスペラントの各語はすべてかういつた意味に於ての internacieco から決定されたのが多いのである。例へば英京倫敦もエス語では Londono としてゐるが英國人自身の發音は決して London ではない筈で寧ろ(萬國發音記號では landən) Landan 又は Landen とでもかくべきである。(とにかく英語本來の まゝの發音はエス文字で正確には書き表はすことができない)。併し英語以外の他國語での發音は London に近いから結局 fonetismo の internacieco からいへば London より外にないのである。それでエス語化するにあつて Londono としたのである。(勿論これは grafismo の internacieco から來たものと考えてもよい)。

扱本論にもごつて考へるに Buddha なる梵語 (sanskrita vorto) の fonetismo の internacieco から云へば “buda” である故に fonetismo を重んずれば Budao か Budo (a を語尾として省略して) となるわけであるが Budo と云ふとエス語には別に budo (=木小屋)なる語があつて、それと同じ formo であ

るためまぎらはしいので Budo は採用できないのである。勿論 firmo, firma; sola, solo; aro, -ar- 等の如く同一 formo の語根が全然別個の二種の概念をあらはす例もある故差支へないわけであるが併しこんな例はあまりこのましい例ではなく、できるならすべての概念は全部ちがつた formo をもつべきである。故に Budo は感心できない。

Rhodes がその著英エス辭典に Budeo を採用したのはどういふ意味から來たかしの推測するに fonetismo による Budo を採用しては budo とかちあふから Buddo としたいが Buddo では同一子音が重複するので bullo を buleo としたのと同一流儀で Buddo を Budeo としてみたのではなからうか。とにかく Budeo は grafismo 及 fonetismo の両方のごちらにも屬しない幾分 arbitre にえらんだ formo である。

扱以上は grafismo 及 fonetismo の兩面よりみた “Buddha” なる梵語のエス語根について考察したのである。所で一般に grafismo と fonetismo のごちらに味方すべきかについては定則なくその場合場合に應じて研究すべきである。よつて今上の grafismo による Budhao, Budho, Buddo 及び fonetismo による Budao 及びその中間の Budeo の何れをえらぶべきかについて一つ一つについて研究してみることにしたい。

(c) 上記の五箇の語根の中どれが一番エス語根として適當か。

先づ上記五個の中で Buddo について考へてみるに Buddo は上にも述べた様に dd と同一子音が重複する點が重大なる缺點であるから F. K. に採用された形であるとしても之は決して rekomendinda な formo ではない。さういふのは dd を日本語の如く促音的に發音すれば budo との區別はつくがさうでなく普通の近代歐洲語の如く發音すれば budo とのちがひがない事になつてしまふ。(勿論 Buddo の u を budo の u よりも短く發音する様にすればよいかもしれぬがエスペラントに於てはあらゆる語の中にある母音は皆同じ價值と考へこれに長短の區別をつけないのが普通である。換言すればエス語の母音には長母音と短母音の區別はないのである。勿論 akcentita vokalo は大體幾分他のものより長



くなる様であるがしかしこれは強制的の規則ではない。日本語では高等 *kôtô* と琴 *koto* のちがひの様に長短母音に劃然たる差違がある。併しエス語にはそんな區別はない。この事については詳細の議論は他日に譲る。故に *Buddo* と *budo* と耳で聞いて區別がつかれる。これではエス語として採用するに適當でない。又これを韻文等で *elizi* した場合即ち *Budd'* の發音は全く *bud'* とちがひはない事になる。それらの點からみて *Buddo* なる *formo* は採用の理由は薄弱である。

次に *Budeo* について考へてみるにこの *e* 音がどこから來たか十分解らないがもし筆者の想像の如く *Buddo* では同一子音がかさなるのでそれをさけるため *Budeo* としたものとするれば何故に *Budao* としなかつたかと思ふ。原形 *Buddha* 中に見出されない *e* なる母音を *arbitre* に挿入したものとすればそれは甚だ獨斷である。勿論 *bullo* が *buleo* になつたのも變の様であるが *buleo* の原形は英語では *bull* であるが獨佛語では共に *bulle* であるからこの後者から *e* をさり入れた事は首肯するに難くない。併し *Budeo* についてはかういつた何の理由もない様である。それで *Budo* では *budo* とまぎれるからそれで三音節にして *d* の後へ母音を入れる事にするとすればさしあたり *a* を入れるのが適當である。(原形が *Buddha* で *fonetismo* の *internacieco* からいへば *Budao* であるべき故)。故にこの意味からみて筆者は *Budao* をすてて *Budeo* を採用する何等の理由も發見できないのである。

次に *Budho* について考へてみるに之は *ismo*, *isto* 等の *sufiksoj* をつけて *deriv* した *budhismo*, *budhisto* 等は *budhaismo*, *budhaisto* や *budaismo*, *budaisto* よりも *internacia* であるといふ點で優れてゐる。この點で *Budho* を採用しようといふ人が案外多いのではないかと考へられる。成程英語や佛語では大體 *buddhi* *t*, *buddhism* が専ら用ひられてゐるが(但し佛語は綴字の關係上 *boudh-* となつてゐる)獨逸語は *Buddhismus* の外に *Buddhaismus* も存在してゐるのだからこの點からみて *Budao* (又は *Budhao*) から *deriv* された *budaismo* (又は *budhaismo*) もそんなに變なギョチないものと一概にけなすこともできないのである。併し *Budho* は *Buddo* と同じくその *eliziita formo* の *Budh'* は *bud'* と區別して發音する事は困難である。それは *h* 音は聲帶での摩擦音であるから母音を伴はぬ

*h* 音は聞きにくい、殊に子音 *d* と *h* の連續では猶更發音し難い。*eliziita formo* のみでなく *Budho* それ自身でも *d* と *h* の組合せ(こんなのはエス語には殆んど例がない)だから發音し難い(勿論 *Bud-ho* と *d* との中間で中斷して發音しても)のである。(殊に *h* 音の殆んどないイタリー語やフランス語國人にとつては *dh* の様な組合せの發音は一層困難である)。發音がかく難しいから耳で聞く方も亦難しい。かういつた點からみて *Budho* は *Budao* と比べて發音上數段劣つてゐると思へばならぬ。勿論 *oficiala vorto* にも *mirho* と云ふ様なものもあるがこれは例外中の例外で餘り感心できないものである。

最後に *Budhao* と *Budao* とを比較してみるにたゞ *h* の有無のちがひで他の點では全く條件が同一である。所で *Budao* をすて、*Budhao* 説を主張する人々の意見をきいてみると *Budao* では *Buddha* なる梵語の本來の音 *dh* を保存しないからといふのであつた。併しよし *Budhao* と *dh* を保存してもそれは形の上で *dh* を保存しただけで梵語の *dh* 音を保存したことになる。といふのはエス語では各音はいつでも何語中にあつても常に同一の音であつてその音價に何の變化もないのがエス語本來のたてまへである。即ち *Budhao* 中の *d* も *h* もすべて個々別々に *Bud-ha-o* と發音さるべきであつて *dh* の二文字の結合によつて特殊の音(即ち *d* の有氣音)を保存するといふ事はできないのである。即ち *dh* は一旦エス語化した以上 *d* と *h* の二音であつてそれ以外の何物でもない。してみればエスペラント語根としての *Budha'* (發音 *Bud-ha*) は *Buda'* よりも梵語の原音 *Buddha* に遠ざかつたものとされる。これでは文字の上では梵語に近い様に見えても發音の方では梵語に遙かに遠いものとされる。然らば單に文字の上の形を固執して原音と縁遠いしかも發音し難い(*dh* の連續の發音し難くなだらかなでない事は *Budho* の項でのべた)ものをえらぶより發音のなだらかな *Budao* をえらんだ方がよい。しかもそれが *Zamenhofa* であるにおいてをやである。といふのは *Zamenhof* 博士がエス語の語彙を決定するにあつてこんな場合即ち或る *internacia* な *vorto* の *originala formo* は *grafismo* の上から云へばエスペラント的でない場合には *fonetismo* の *internacieco* によつて決定してゐる事が多い。

その例をあげるならば希臘語から由來した



ch, ph, th, rh (これらは希臘の原音では  $\chi, \phi, \theta, \rho$  なる文字で表はされた特殊の音であつて之等の音を含めラテン語に移植するにあつてその文字がないためやむを得ず h を伴つた上記の組合せ文字を用ひたのである) 等を含んだ *internaciaj radikoj* が澤山エスペラントにも採用されてゐるが Zamenhof 博士は之等の採用にあつては一大勇斷をもつて k, f, t, r を以て示す事にしてゐるではないか。(何故に勇斷といふか。それは英獨佛その他の歐洲語に於ては上記の ch, ph, th, rh を綴字の上ではそのまゝ採用してゐるからである。しかも發音は大抵 k, f, t, r に過ぎないのに。) これは Zamenhof 博士が筆者の上に述べたと同様の意見をいだかれて決定されたものと推斷して差支へないと思ふ。我々がエスペラントを學び始めた時エスペラントの綴字を見て大變 *barbarisma* であると感じるのはかういつたギリシヤ語から來た語根の綴字に於てである。例へば *philosophia* が *filosofio* となつた如き *theologia* が *teologio* となつた如き *Christ* が *Kristo* となつた如き *rheumatism* の *reŭmatismo* となつた如きである。併し之等を見慣れ書き慣れた今日からみると我々は舊い形の *philosophia* の如き文字をみるとき昭和の御代にチョンマゲを見出した様な感じがする。そして Zamenhof 博士の勇斷を有難く思ふものである。もしこれがラテン綴りのまゝで保存されてゐて *p-philosophia* (プヒロソフヒア) とでも發音する事になつてゐたとしたらどんなにいやな感じがするだらうと思ふ。Z 博士のの英斷をたゞえたい。所が Z 博士と雖もやはり多少は *kon-servativa* な *opinio* をもたないでもなかつた。さみえギリシヤ語由來の ch は全部 k に變更しえないで h なる文字を用ひて表はす事にした。Z 博士が ph, th, rh に勇斷をふるひながら ch のみを k にしえなかつた事を大變遺憾に思ふものでこの點だけ位澤山のエスペランチストを悩ませたかしのれない。例へば *arĥitekturo*, *ĥemio*, *ĥaoso*, *ĥirurgo* 等に於てみるが如くである。而して今日に於てはこれらは大抵 *arkitekturo*, *kemio*, *kaoso*, *kirurgo* として用ひられ、h を含んだものは *arkaikaj formoj* として顧みられなくなつた。そして *Akademio* でもその點を認めて *arĥ...* と云ふ如き語は *ark...* としたのも *oficialaj radikoj* として發表せざるをえなくなつたのである。將來は *ĥemio* も *ĥaoso* も *kemio*, *kaoso* として *oficialigi* されるのも遠くはあ

るまい。この點からみても Majstro を仰がれた Z 博士の採用した語根でさへ其發音が難澁なものは漸次發音の容易な語形を以て置き換えられるに至つた事を示すものでこの點も新語根採用上注意すべき點である。

*Buddha* をエス化するにあつて *Budho* 或は *Budhao* を採用しようとする人はこの Z 博士の躊躇して失敗した轍を踏むものであると云ふも過言でないと思ふ。即ち今日の因襲にさらはれて *Budho* 又は *Budhao* を採用すれば將來きつとより發音し易くより合理的な *Budao* に變更される時が来るにちがひないと思ふ。故に筆者はこゝに *Budao* の最も合理的なことを主張し *Budho* 説, *Budhao* 説を主張される人々が一大勇斷を以て *Budao* を採用されてこの『佛陀』なる語根の決定をして最後的の決定たらしめたいと思ふのである。

*Budho*, *Budhao* を主張される人々が梵語や巴利語の *dh, dh̄, d̄, kh, ph, bh, s, ś, r* をエス語の語彙にもあくまで保存しようと思ふような見當ちがひの偏見から主張されるものなら我また何なか云はんやである。

3. *Budao* が最近刊の *Plena Vortaro de Esperanto* (SAT 出版) に採用された事は將來の『佛陀』のエス語根として *Budao* が *definitiva formo* として認められたと見てよい。

以上前節に於て *Budao*, *Budeo*, *Buddo*, *Budho*, *Budhao* の五つの語根の中 *Budao* が最もエス語根として合理的である事を論述したが本節ではこの *Budao* 説に最後的決定の大きな鍵を與へたものは何といつても SAT 版の *Plena Vortaro* が *Budao* を採用した事であらうといふ事について少し述べてみたい。

先年小坂狷二氏がその著 “*Perloj el la Oriento*” の中で *Budao* 説を主張された事は舊いエスペランチストの記憶する所である。筆者はその當時から *Budao* 説の妥當を確く信じ從來常にこの語根を用ひてゐた。(小坂氏が之を使用された事は勿論の事である。)所が歐羅巴で出た相當權威ある辭典にはこの語根がその後も採用されるにいたらなかつた事は大變遺憾な事であつた。(唯 *Fulcher & Long* の英エス辭典に出たにすぎない)。其後筆者は新撰エス和辭典の編纂に際し小坂氏提唱の *Budao* を採用しこの語根が我國エスペランチストによつて大いに用ひられる事を望んだのであつた。(勿論辭典である以上從來用ひられた *Buddo*, *Budho* も挿入した事はしたが筆者は極力 *Budao* を支持したく思つたのである。)所が日本の *esp-isto* の中にも歐



米人が Budho を使用するのを見て單純に之を imiti される人もあつたのは遺憾であつた。

然るに昨年 SAT で出版された Plena Vortaro de Esperanto が敢然として Budho, Buddo, Budeo を拒否して専ら Budao を採用されたのを見て大いに愉快に感じた。

此の Plena Vortaro は從來之迄に各國で出版されたどの辭典よりも權威あるものと云ふも過言でない。さういふのは同辭典は四名の Lignva-Komitatancj の協力によつてなるものでしかもその全體の事業を統率された人は我が Esperantista Akademio の Komuna Vortaro の部長として名聲噴々たる E. Grosjean-Maupin 氏であるからである。(勿論同辭典は實の所二部分からできてゐて teknikaj radikoj は専ら Grenkamp 氏擔當のもので他の komunaj vortoj はすべて他の三氏の協力になるものであるから teknikaj radikoj のみは多少問題とする餘地もあるが三氏の編纂の部は大體 komunaj vortoj であるから Grosjean-Maupin 氏の最も得意とする點でその價値又絶大である。)

しかも同辭典は最近の新しいエスペラント界の傾向を加味して(いろんな意味に於て)編纂された點に於て將來エス界指導の明星とも云ふべき良辭典である。(辭典にもいろんな役目がある。普通語辭典と専門語辭典等採用語彙に區別のあるものもあれば從來用ひられた語根は善惡共に記載して記録的の役目をする辭典もあれば將來の言語の發展を指導する辭典もあるわけで Plena Vortaro は將にこの最後のものを目標とした辭典とみてよい。これについて一々呟々するは煩雜故こゝには述べず詳細は他日の機會にゆづるが。例へば同辭典には arĥ... といつた語形の oficialaj radikoj については何等説明せずになゞ

Arĥ..... Vd ARK.....

といつた風に簡單にすませてゐる。これは今のべた様な目的で編纂された辭典だからよいが Akademio の如き所から出版さるべきものなら少くとも arĥ のついた oficialaj radikoj のみは之を全部記載するにちがひない。この辭典だけでは arĥ のついた oficialaj radikoj が何語あるのか判りにくい。即ちこの一例にみても同辭典は明かに將來のエス界の指導に重きをおいて編纂した事が察せられる。)

所でこの P. V. に於ては佛陀の如き固有名詞は語根として採用されてゐない。(幾分例外はある)から Budao と云ふ見出しはないが budaismo 及 budaisto の二つの見出しが

採用されてゐるのであつてしかもその Budaismo の項をみるさ

budaismo. Religio fondita de Budao dum la 5-a jarcento antaŭ Kristo. さてゝゐてこの中に Budao なる語がでてゐる。だから Budao が見出しにはないがこの Budao から budaismo 及 budaisto が derivi したものとみても差支へない事云ふまでもない。而して Plena Vortaro 中には Budao 以外には Buddo, Budho, Budeo, Budhao の何れも採用されてゐない。而してこの budaismo, budaisto は Grenkamp 氏の採用したものでなく兩語とも Grosjean-Maupin 及 Esselin, Waringhien の三氏の擔當された部に屬するものである事を忘れてはならぬ。即ちこの點は P. V. の三編者が大英斷を以てこの Budao 説を支持し歐洲で普遍一般化してゐる Budho にすら一顧の價値を與へてゐない事は如何に Budao の合理的なる事を強く信じてゐたかが想像される。(同辭典でも aboli, abolicii, amendo, amendamento 等その他エス語根としてその formo が二つ以上あるものも妥當と考へたものは兩者とも採用記載してゐるに拘らず Budho, budhismo, budhisto の何れをも一切記載せなかつた點は Budao に對する編者連の自信を示すものである。しかも Grosjean-Maupin 氏はその著エス佛、佛エス辭典には共に Buddo を採用しておきながら本辭典に於て Budao のみを採用したのは如何にこの辭典の使命を重大視し慎重編纂に従事したかがうかゞひしられて奥ゆかしい。又同氏の opinio に於ける一大飛躍でもある。)

筆者はこの Plena Vortaro が將來のエス界の大きな指導的の役をなすのである事を確く信じ同辭典に採用されたエス語根は必ずや最も頻繁に使用さるゝ事を信ずるものである。この意味に於て同辭典が『佛陀』のエス語根として Budao を採用した事を大いによろこばしく思ふものである。而して Budao が將來最も多く用ひらるゝ可能性を得た事を思ひ Budao が『佛陀』に對する definitiva formo となつた事を筆者は確信するものである。

『佛陀』に對するエス語根の撰定に關し我國佛教學者エスペランチスト間に論議がくりかへさるゝの時筆者の年來抱懷する Budao 説を紹介し且その將來の發展に對する豫測をのべるもあながち無意義でない事を信じこゝに卒直に信所をのべた次第である。猶十分意をつくさない點もあるが一先づこゝに擱筆して同志諸賢の御高見を承りたいと思ふ。

【p. 49 へつゞく】



# 質 疑 應 答

(Lingvaj Respondoj)

K. Ossaka

★國名に Japanujo と Japanio と兩場合があるがその理由を。(黎子)

〔答〕 國名接尾字 -io は Ido 語等に於て採用せられたる處で、其後歐洲人中には Esp. にも之を唱導するものが出た。その理由は此の形式は internacia である、例へば Germany, Italia, Italy など多くの歐洲國語の國名は -i 音に終るものが多いので Germanio, Italio などの方が好ましいと云ふのである。然し Anglio, Francio, Svisio 等は internacia formo と云ひ難い。又接尾字 -uj- は『容器、樹』など多意味であるからの理由もあるが、是はさう譯するからいけないので -ujo = tiu, kiu tenas ĉe si …… と解すれば一向差支ない。なほ第七回日本エスペント大會(大正九年)に於て接尾字 -i- 反對の決議を滿場一致で議決した。本接尾字が單に歐洲語の習慣によつて起れるもので Esperanto としては理論的に大なる誤謬であることは既に本誌第六年第三號(1925)に詳論した故茲には述べない。外國に於ては Universala Esperanto-Asocio が先づ之を採用して論議を起し、1927 年 Danzig に於ける萬國大會協議會に於て Privat 博士の面前で予も大に痛論して『UEA をつぶせ』とどなつたが、それが原因をなしたわけではあるまいが英國エス協會の Butler を急先鋒として反對の火の手があがり終に Privat は UEA の會長を辭任し、兜をぬいで -io- 使用をきつぱりよしてしまつたのは Esp. の爲めに萬歳を稱へた次第である。然しなほ一部の人々

は感情上より之を固執するあり、又日本でも外國人のやる事は何でもよいと思ふ一部の人々が Esp. の語の眞髓をも解しないで見様見真似をしてゐるものあるは笑止の至り。序乍ら Esp. の國名命名の根本法則は民族本位によるもので

(1) 或る民族が國を成してゐる場合にはその民族名に -ujo を附して國名とする。例へば日本は日本人 japanoj なる民族が主たる國であるので Japanujo. 此の點から日本『國』を Nihono 又は Nipono とせんとする説は Esp. 語としては誤なることがわからう。

(2) アメリカ諸國の如く先づ土地があつてそこへ人が來り住して國を成したものは國に名を與へ、住民は之に -ano を附す。例へばカナダはカナダ民族と云ふものはないのであるから土地を Kanado と命名し、カナダ人は Kana-dano. 此の部類には Aŭstralio, Alĝerio 等 -io に終つてゐるものがある。然し此の -i- は接尾字ではない。

(3) 古くより歴史的に其國の住民が一國を成してゐると考へられてゐるものは(1)と同じ扱ひ。例へばスキス國民は民族的には francoj と germanoj (幾分 italoj も住す) で本來 svisoj なる民族は存在してゐないのであるが、歴史的名によつて國民を svisoj とし、國を Svisujo としてゐる。主な國名は

〔Eŭropo〕 Aŭstrujo, Belgujo, Britujo (Anglujo, Irlando, Skotlando), Bulgarujo, Ĉeĥoslovakujo, Danujo, Finnlando, Francujo, Germanujo (Bava-



rujo, Prusujo, Saksujo, Grekujo, Hispanujo, Holando *aŭ* Nederlando, Hungarujo, Italujo, Jugoslavujo, Norvegujo, Polujo, Portugalujo, Rumanujo, Rusujo, Svedujo, Svisujo, Turkujo; [Azio] Ĥinujo, Hindujo, Japanujo; [Oceanio] Aŭstralio, Nov-Zelando; [Ameriko] Arĝentino, Bolivio, Brazil(i)o, Ĉilio, Kanado, Kolombio, Meksikio, Peruo, Urugvajo, Usono, Venezuelo; [Afriko] Alĝerio, Egipto, Kaplando, Maroko, Tunizio.

結論: 國名 -i- は Esp. としては大なる誤謬なり。正式の -uj- を用ひよ。

★Sklaveco の譯を。(同氏)

[答] Sklavo たる事, 即ち『奴隸の身, 不自由さ, 奴隸の心, 卑屈な根性』。

★Scii と koni の關係を savoir と connaître の關係に比較を。(哈爾賓 K 生)

[答] Scii=savoir; koni=connaître, なほ昨年六月號 (p. 117 右欄) で應答説明してゐます故御覽を。

★Ami, plaĉi, ŝati の區別。(同)

[答] Ami は『愛する, 好む』で, plaĉi は『ある物(者)が誰々の氣に入る』で兩者は主語が逆になる。

Mi amas tiun kanton.

私はその歌がすき。

Tiu kanto plaĉas al mi.

その歌は氣に入つてゐる (plaĉi は『誰に氣に入る』故前置詞 al)。

Ŝati は獨逸語の schätzen から來た語で敬意を以て『尊重する, 珍重する, (珍重して) 好んで……する』。

Mi amas lin pro lia talento.

才があるので愛してゐる。

Mi ŝatas lian talenton.

その才能を愛す (敬服尊重す)。

英語の to like は場合によつて ami であり, ŝati である。

## 前號重要正誤

頁	欄	行	誤	正
3	左	25	86, p. 89	86—89 p.
5	右	17	-nire	-uire
"	"	20	novlisto	nomlisto
6	右	-10	paĝ.	paĝ., 1931
"	"	-3	本人な	本人達な
8	左	-11	la lasa	la sola
22	左	22	ランドドル	ランドル
31	左	2	第十四回	第七十二回
39	左	19	rmoto	moto
"	右	5	Jaŭ.	Ĵaŭ.

【p. 47 より】〔附記〕本論文を書き了へてから丸善書店で Millidge の The Esperanto-English Dictionary の最新版 (1931 年末に Ernest Benn Company から發行されたもの——從來は Stead's Publishing House と British Esperanto Association で出版) を見た所從來 Budd-o (上記記事參照) となつていたのが Buda-o に變更されてゐた。即ちこれは明かに同辭典では SAT 版の Plena Vortaro の撰定に従つて從來の語形をすて、Budao を採用したものと思ふ。この一事を見ても將來のエス界に於ては Buda-o 採用の機運が次第に動いて來るものと思ふ。

*Aldono al la esperanta resumo:*—Lastatempe mi trovis ke en la plej novan eldonon de la vortaro "The Esperanto-English Dictionary," verkita de LK-ano E. A. Millidge, la kompilinto enkondukis novan radikon "Buda-o," kiun mi varme rekomendas en tiu ĉi artikolo, kaj kiun la Plena Vortaro eldonita de SAT alprenis kiel la plej taŭgan radikon por la internacia vorto "Budha," kaj forigis la malnovan "Budd-o." Tio estas la plej bona ekzemplo por sekvi!! (J. Okamoto)



# 再歸代名詞を中心として

高 橋 運

## 4. 再歸代名詞の相互的意味

再歸代名詞は、その主體が複數たる場合には、普通主體の一部をなす單數體を *reaperigi* するのであつて、主體をそのまゝ全體として再現するのではない。故に再歸代名詞が相互的意味を有するのは、その主體が複數たる場合に限るのである。こゝにおいて、次の二つの區別が認められる。(1) 再歸代名詞が單に再歸的意味を表はすに止まる場合: *Ili (A kaj B) amas sin (A→A, B→B) mem.* = *Ĉiu el ili amas sin mem.* (2) それと同時に相互的意味を表はす場合: *Ili (A kaj B) amas sin (A→B, B→A) reciproke.* = *Ili amas unu la alian.*

その中で相互性は再歸性と異り、再歸代名詞に必然的のものではない。従つて *mem* が單に再歸性を強調するに役立つに過ぎないのに反し、再歸代名詞が相互的意味を表はすには原則として *reciproke* の隨伴を必要とする。たゞ意義の混亂を來すおそれが無い場合に限り、*reciproke* を省略することが出来るのである。

また *inter si* は *unu al la alia, unu la alian* などの代りに用ひられることがある。たとへば: *Ili similas inter si.* = *Ili similas unu al la alia.* 即ち *Ili (A kaj B) similas inter si (A↔B).*

## 5. 動作の支配

ある動作の主體がその動作の支配する範圍において再現するときは、常に再歸的性質を帯びる。従つて再歸代名詞用法

の決定について基準となるべき單位は動作の支配範圍であつて決して文ではない。文は文章論においてこそ主要概念であつたが、再歸代名詞解説においては既にその重要性を失ふに至つた。即ち、文は動作支配の(最も廣汎なれども)最も單純なる一つの形式として、僅かにその存在の價值を保持するに過ぎないのである。

しかして動作の支配は互ひに競合しないのが普通ではあるが、まれにある動作の支配と他のそれとが重疊的に認め得られることがある。かゝる場合、いづれの動作概念に再歸代名詞用法に對する決定力を保有せしむべきかは、私達の自由なる主觀の問題に屬する。たとへば: *Li arestis la mortiginton de sia infano.* において *de sia infano* に再歸性を與ふる動作概念は何であるか。

また *D-ro Lippmann* が示してゐる *Li nomis lin sia (aŭ lia) plej fidela vasalo.* もその適例であらう(尤も私の研究によれば、*Zamenhof* はかくの如き場合に動作支配の複雑性を好まなかつたやうではあるが、詳細は稿を改めて陳べることにする)。

## 6. 再歸性の固定

上述の如く、動作の主體がその動作の支配の下に再現するときは、必ず再歸性の問題を生ずるので、主體の人稱如何を問はない。故に一人稱、二人稱に對する再歸形といへども實質的には再歸代名詞に外ならない。しかるに、私達は普通三



人稱に對する再歸形 *si* 及び *sia* のみを再歸代名詞と呼び慣れてゐる。これは *si* 及び *sia* が各人稱における再歸代名詞を代表して一般的に再歸性を表はす能力を有することに原因するのである。

次にたとへば *singarda*, *sinmortigo*, *sinteno* がすべての人稱を通じて用ひられるのは、*sin* の表はす一般的再歸性が語の合成において固定することに基くのである。だが、この一般的再歸性の固定を單に造語の結果のみに歸することは、大なる誤謬である。同じく合成語にしても *siaflanke*, *siaparte* は人稱によつて變化するではないか。更に具體的に説明すれば、*singarda*, *sinmortigo*, *sinteno* が人稱による變化を爲さないのは、抽象的に動作を表はす *gard'*, *mortig'*, *ten'* が語の一部をなすことにより、他の動作概念の介入を排して、*sin* の一般的再歸性を常に保有せしむるからである。これに反して、*siaflanke*, *siaparte* は何ら再歸代名詞用法に對する決定力を有する動作の概念を含まないために自己が從屬する動作概念の主體に従つて *miaflanke*, *viaflanke*... *miaparte*, *viaparte*... などと變化せざるを得ないのである。尤も *siatempe* は既に再歸的原義を失ひ *ĝustatempe*, *tiutempe* ほどの意味に用ひられるから變化をなさない。

## 7. *mi*, *kiu mi*...

關係從屬文における動詞の人稱による語尾變化には (1) ドイツ語の如く、關係代名詞の人稱に従ふものと (2) フランス語の如く、先行詞の人稱に従ふものとがある。この相違は人稱による動詞の變化を知らないエスペラントにおいては再歸代名詞の形の上に現はれるわけであ

る。D-ro Lippmann は「關係代名詞の再歸形は、その先行詞が一人稱、二人稱たるときといへども、*si* 及び *sia* なり」と教示し、更に「尤も關係代名詞の後に先行の人稱代名詞が繰返し用ひらるゝときは、この限りに非ず」と註釋してゐる (La R. O. XII 6 拙稿「再歸代名詞に關する一問題」)。私は前段が正當なることを認めるけれども、後段に對しては——何故に先行の人稱代名詞を繰返し用ふる必要があるのか、またさういふ習慣があるのか——聊か疑問を有するのである。しかしながらかくの如き用例を發見しないことを理由として今直ちに否定し去るほどの確信もないから、一つの疑問として提示するに止める。

## 8. 汎稱代名詞と再歸代名詞

三人稱に對する再歸形 *si* 及び *sia* は同時に汎稱代名詞 *oni* に對する再歸形である。これは *oni* が文法上三人稱に屬するといふ主張の根據をなすのみならず、*si* 及び *sia* がすべての人稱における再歸代名詞を代表することを可能ならしめるのである。形式的にいへば、「代表的意味における *si* 及び *sia* は汎稱代名詞 *oni* の再歸形である」といふことになる。

なほ *oni* に相等する特別の文字を有しないため、イタリー語、スペイン語が主語の特定表示を必要としない場合に *si*, *se* を用ふるといふのは面白い事實である (従つて *oni diras* はイタリー語には *si dice* = *si diras* と譯される)。これに反して、エスペラントが特に *oni* を採用して、*si* を *oni* の代用物たらしめなかつたことに對しては、英獨佛のエスペランティストは感謝すべきであらう。



## 9. 人稱の變態

一人稱、二人稱相互或はおのおのが三人稱と結合して主語となる場合、その再歸形は如何。たとへば：

Mi mortigis *mian* propran infanon.  
 Mia amiko ankaŭ mortigis *sian* propran infanon.

これを一つの複文章に收縮して：

a) Mi kaj mia amiko mortigis *sian* propran infanon.

b) Ne nur mi, sed ankaŭ mia amiko mortigis *sian* propran infanon.

c) Kiel mi, tiel ankaŭ mia amiko mortigis *sian* propran infanon.

などとすることが出来る。けれども、人稱の異なる主語を並置的に *kaj* で結合した a) の場合が問題となるのである。元來一人稱、二人稱は現に意思の發表をなすもの自身とその相手方に限定せられ、それ以外のものが一人稱二人稱たることは想像し得ない。従つて語の形式においても、一人稱、二人稱たりたるものは單複兩數を通じ常に一定の單一なる代名詞に限るのである。でないと、一人稱、二人稱代名詞とその再歸代名詞が同形であるといふことは不可能事となるであらう。かく考へ來れば、人稱の異なるものが結合して主語となつた場合には、既に一人稱、二人稱の必要條件たる單純性を害するから、それが一人稱、二人稱たり得ないことは明らかである。してみれば、三人稱複數であるといふのほかはない。故にその再歸形は *si* 及び *sia* である。

## 10. D-ro Lippmann の名著

D-ro Lippmann の „La refleksiva pronomo en Esperanto“ が發表されて

からは、あらゆる文法家が彼の所説をそのまゝ援用してゐる。彼はこの著書により今まで謎の語法であつた再歸代名詞の用法を一目瞭然ならしめた、その文法學上の功績は大きい。だが、主格的 *de* と再歸代名詞の關係に對する彼の結論は誤りであり、更に根本的に、彼自らいかに動作の觀念が *si* 及び *sia* の用法に重大なる影響を與へるか熟知してゐる筈であるのに、まだ舊來の文を中心とする研究態度を保持してゐるのは惜しむべきであるといはねばならぬ。

現に D-ro Lippmann 以前において、E. Ĉefeĉ はその „La Elementoj kaj la vortfarado en Esperanto“ p. 47 に „La tasko de *sia* estas efektivi la interrilaton de la direktanto de la verba ago kun la substantivo, kiun *sia* akompanas.“ と述べてゐるのは注目に値する。けれども再歸代名詞の實踐的用法をあれほど組織的に、詳細に研究したのは D-ro Lippmann が最初の人である。

私は彼の文を中心とする研究方針には異議を有するのであるが、彼の研究が明細且つ體系的なのには敬意を表しなければならぬ。

La R. O. XII 11 月載本稿 (1)

### 重要訂正

左 /4/5/15	なり	→	である
左 /9	充分	→	十分
左 /-9	D-ro	→	Doktoro
右 /10	申上げる	→	申し上げる
右 /12	kaj ĉio	→	kaj por ĉio

その他漢字の使ひ方、假名遣ひなどに遺憾な點が多い。筆者の不注意をおわびする。



## 和 文 エ ス 譯 添 削

K. Oohashi

(1) 我々の大部分が其意見に同意した。

A. La plejmulto de ni aprobis tiun opinion. (大塚君)

B. La **plimulto** el ni akordiĝis pri tiu opinio. (Migranto 君)

『大部分』は plejmulto も plimulto も大體同じ位の意味でもし正確に過半数と云ひたければ pli ol duono とすればよい。次に『我々の』が答案には三様になつてゐる。da, de, el である。ni は特定の人數で、その大部分即ち pli granda parto だから peco **da** viando が單に『一片の肉』と云ふに對し特定の場合即ち peco **de** la viando, kiun mi havas antaŭ mi 『その肉の一片』と de を用ふるのと同じ様な考へから da より deの方がよい様に思ふ。el は全體の中から其の ero を撰擇する意から kelkaj el ni の様に複數形を用ひられて居る。答案 B の plimulto は plimultaj がよいと思ふ。『同意する』は普通には aprobi や konsenti, akcepti 等が使はれる。akordi は考へや意見(又は諧音)が互に相殺する事なくよく調和してゐると云ふ字だから akordiĝi と動作の動詞にして用ひたのはよろしい。尙 preskaŭ ni ĉiuj... preskaŭ ĉiu el ni... 等もよろしい。grandparte は十の提案の中八、九は同意する様にとられ易い。

(2) 戀は何うあつても理性とは結付かない。

A. La amo estas neniel ligita kun la intelekto. (佐々木君)

B. La amo neniel sin ligas kun la racio. (古澤君)

そもそも愛とはと云ふ様な定義口調だとして la を冠したのはよろしい。この問題は色々に答案されましたが大部分良好でした。

『理性』は普通 racio が用ひられる。racio は眞理を條理正しく koncepti する人間にのみ與へられた能力。intelekto は知能で或種の intelekto は動物にも存する。軽い意味の理性として取扱つてもよい。『結び付く』は(1)に出た akordi 或は kunekzisti (兩立する), harmonii, などを用ふる事が出来る。ligi は al や kun の前置詞をとる。

(3) 神は自ら助くる者を助く。

Kiu mem al si helpas, al tiu ankaŭ Dio helpas.

(高橋哲君, Oŭa 君, J. 岡本君)

上記三君満點です。其他の諸君も好成績。ankaŭ のは入つたのは無いのより點が上。Dio favoras もよろしい。Dia favoro=graco. savi=助ける, 救済する。これもよろしい。helpi al tiu は helpi tiun でも可。tiu, kiu は相應して使はれる。

(4) 聖者は其の罪を憎むで其の人を憎まず。

La sanktulo malamas la pekon, (sed) ne la pekinton (pekulon).

(中川年君, 山口稔君, 矢野君, 石黒捷君, 古澤君, 黒澤君, Seto 君 ktp)



『聖者』は sanktulo の外に virtulo 或は saĝulo 等。『罪』peko は主として宗教的の罪或は道德的。krimo は主として刑事上。kulpo はもつと廣く悪と云ふ程度、或は落度。delikto は罪でも極く軽い法律違反。

(5) 子供と約束をしたら、又其れを果してやりなさい；さもないと其の子は嘘言を覺える。

Kiam oni promesis ion al infano, tiam oni ankaŭ plenumu ĝin; alie la infano lernos mensogi.

約半数以上の答案が満點に値して居ました。桑村君の Promesoj faritaj al infanoj, devas esti nepre plenumataj, ĉar alie malvero iam korpigus en iliaj kondutoj. の形式も大變よろしい。promesi **al** iu が一般に用ひられる。promesi ludilon al infano = 玩具を子供に約束する。Promeso estas larĝa, plenumo estas ŝarĝa. (Z). 採點の上からは, ekscios mensogon より lernos mensogi が上。勉強する, 學ぶ, の外に lerni が経験から, 或事の知識を得ると云ふ場合にも用ひられる。Mi multe lernis el la vojaĝo. = 旅行中得る處が多かつた。『さもないと』= alie, aliokaze, se ne, aŭ 等。ellasu min, aŭ mi ekiros.

(6) 其時私の目の中には涙が浮び、私は丁度なくなつた母親と話をして居る様な感をいだいた。

Tiam larmoj staras en miaj okuloj kaj mi havas tian senton kvazaŭ mi interparolus kun mia

mortinta patrino. (河本君)

『其時』を ĉe tio (碧城君)もよろしい。larmo は涙の一滴で普通復數に用ひるが、未だ目の中に溜つてゐてボタボタ出ない時分には、或は代表單數として en la okuloj de la pli juna fratino naĝis larmo... (B. V. de Z.) の様に用ひられる。『涙が浮ぶ』は上文の様に naĝi や stari が用ひられる。或は okuloj larme malsekiĝis, larmo aperas 等。stari は resti senmove, senflue の意に用ひられる。kvazaŭ は kiel 或は kiel se, 或は單に ke と置換へられる。『感をいだく』は單に senti でもよし或は havi impreson, senti impreson, 『なくなつた母親』は senviva でもよい。senviva は『以前には生命のあつたものが生命を失ひたる』, malviva は『始めより生命のない』, malvive naskita infano. senviviĝi = morti.

(7) 彼は文字通り骨と皮ばかりになる迄やせた。

Li malgrasiĝis ĝis skeleto en vera senco de la vorto.

(Migranto 君)

Li malgrasiĝis laŭlitere ĝis lia haŭto ĉirkaŭkovras nur skeleton.

(佐々木君)

laŭlitere 或は laŭvorte = 『文字通り』或は『逐語的に』。vorto は單語, litero は A. B. C. ... の文字。laŭvorte (laŭlitere) traduki = 一字一字を其のまゝ翻譯する事。en vera senco de la vorto. = 言葉の眞の意味に於て = 言葉通り。graso = 脂肪, ~a = 脂肪質の, 肥えた。其他脂肪には, oleo (動, 植, 礦物の),



vazelino (鑛物性), petrolo (石油), lardo (ラード), sebo (獸脂) 等。mal-dikiĝi も細くなる, で瘦せる事ではあるが普通は malgrasiĝi の方が多く使はれる。『骨と皮ばかりに』には大分諸君も弱らされた事と思ふ。malgrasiĝis ĝis osto kaj haŭto が一番多かつた。かう云はれて何んの事か解らないと云ふ人があれば, 其の方が解らずやに違ひない。作文の點の上からは, ĝis la skeleto kun haŭto, や ĝis la skeleto kovrita nur per haŭto の方が高點。skeleto=ostaro. 因に ĝisost' は, 骨迄で。例へば, Li estas ĝisosta "edok"-ano. 『彼は生粋の江戸ツ子だ』の様に使はれる。tiel, ke ... や kvazaŭ を使つても言える。

(8) 君は, もうこんなに永く待つて居たんだものあと少し位待つのは何んでもないよ。

Se vi jam tiel longe atendis, ne estas ja grave atendi ankoraŭ iom pli.

Se は普通は『もし……ならば』と單なる假定として用ひられる外に『よしんば……であるとしても』の様にも使はれる。Se vi volus, vi ne povus. 又 ĉar の様に使はれる事がある。上文の se が丁度それである。pli と plu は別の語であるが多くの場合どちらを使つても意味の上に變りが無い。併し pli ol を plu ol と云ふ事は出来ない。pli は量や度に就て言ひ plu は状態や行爲の連續を表はす。

上の文で plu を使つてもよい。ne parolu plu. は『もう澤山だから黙つて呉れ, 口をきくのをよして呉れ』となる。つまり paroli の行爲を連續しないで呉れ, と云ふ事になる。ne parolu pli. は

『それ以上話しては下さるな, そんな悲しい話しは止めて, もつと陽氣な話しをして下さい』と云ふ様な微細な相違がある。plue, plie は e の副詞語尾が付けられて立派な副詞となり, 一層意味が強くなる丈。Estas facile atendi iom pli por vi, kiu jam atendas tiel longe. (J. O. 君) この形式の人も數名ありました。課題の意は充分に盡せて居ない。『何んでもない』は ne estas grave が適譯。或は ne gravas tio, ke vi atendas iom plu. としても宜ろしい。或は estas nenio grava. iom はこれ丈で『少し』と云ふ意味が充分表はされてゐるので iomete とやるのは使ひ處によつては, 大變キ、がよいが餘り矢鱈に使ふのは感心しないと思ふ。まして iomete da など悪い洒落だと自分は思つて居る。

## 成 績

(90 點以上) 大塚君, 佐々木君, 河本君。(85 點以上) R. Kurosawa 君, 矢野君, 石黒捷君, Migranto 君, 中川君, 松本君。(80 點以上) 桑村君, Oŭa 君, 山田君, 中村鶴君。(75 點以上) K. O. N. 君, Joŝio Okamoto 君, K. Murakami 君, J. Oka 君, 高橋哲君, 碧城君。(70 點以上) G. Seto 君, S. F. 君, F. Haraki 君。(65 點以上) 渡邊時君, 古澤肥君, Jam 君。

## 四月號課題 三月一日締切

- (1) 彼は本職の外に, エスペラントの個人教授を, 内職にして居る。
- (2) 花子は, 息をはづませ, そして陽氣に笑ひ乍ら, 一さ休みしようさ, ストープの側の麻の覆ひのしてある長椅子に, ドツカと腰掛けた。
- (3) 此の繪は僕の友人が畫いて呉れた丈に大層氣に入つて居る。
- (4) 戸外の, いてつく様な(氷つく様な)寒さに引きかえ, 室内では爐に赤々と火が燃えて居た。
- (5) さして早急の用件には無之候へども, 全員臨席中に解決致し度き儀有之候。
- (6) たつた今隣室で咳をして居たのは君だつたのか?
- (7) 彼女の洋装は垢ぬけて居る。



# 官 察 検

Zamenhof 譯 La Revizoro 一節の註譯

K. Ossaka.

Fjodoroviĉ.—Jes ĉirkonstanco eks-  
terordinara, tute eksterordinara.  
Certe ĝi estas ne sen kaŭzo.

Lukiĉ.—Kial do, Anton Antonoviĉ,  
por kio? Kial oni sendas al ni  
revizoron?

Urbestro.—Kial! Certe jam tia  
estas nia sorto! (Ekĝeminte) Ĝis  
nun, dank' al Dio, oni atakadis aliajn  
urbojn; nun venis la vico al nia urbo.

Fjodoroviĉ.—うむとてつもない事、  
全くとてつもない事(異常な ekster'ordi-  
nara 事柄)だ。こりや原因がないこと  
はない。

Lukiĉ.—一體なぜだ, Antonoviĉ さ  
ん, 何の爲めだ? なぜ檢察官をよこすの  
だらう?

市長——なぜだつて! 勿論 (certe) さ  
う云ふめぐり合せ (吾々の運命がそんな  
風) になつてゐるのだ (jam... estas)!  
(ためいきをついて ek'ĝem'inte) 今迄  
お蔭様な事には (dank' al Dio), 他の町  
をやつつけてゐたが今度は當市へお鉢が  
まはつて來たのだ(順番が來た)。

ĉirkonstanco (某主事件に伴ふ) 事柄,  
(事の) 委細; (さう云ふ事柄が集つた四  
圍の) 事情 (依て普通複數)。

Dank' al... のお蔭で

Antonoviĉ 市長の父姓。ロシアでは  
父の名をとつて名とする。例へば小坂狷  
二の父が千尋であるなら Kenji Ĉihiro-  
viĉ Ossaka, そして親密敬意を表すに姓  
を呼ばず父姓を呼ぶ。しかも會話中盛ん  
に之を挿む。

Fjodoroviĉ.—Mi opinias, Anton  
Antonoviĉ, ke tie ĉi estas kaŭzo  
delikata kaj pli politika. Ĝi signifas  
jenon: Rusujo... jes... volas fari  
militon, kaj la ministraro tial, jen  
vidu, sendis sekrete oficiston, por  
sciigi, ĉu ne ekzistas ie perfido.

Urbestro.—Eh kien vi ensaltis!  
Kaj ankoraŭ saĝa homo! En mal-  
granda urbo, perfido! Ĉu ĝi estas  
urbo apudlima, he? De ĉi tie vi ja  
povas eĉ tri jarojn rajdi, vi al nenia  
regno alrajdos.

Fjodoroviĉ.—Antonoviĉ さん私の  
考では (Mi opinias, ke) 茲には何か微  
妙なむしろ政治上の (pli politika) 原因  
があるのでせう。是はかう云ふ意味です  
(ĝi signifas jen'on): 露西亞がですね  
……さうですとも……戦争をしようとし  
てゐる, そして内閣 (ministr'aro) はそ  
ーら(御覽), それだから何處かに陰謀が  
ありはせぬか探知するために秘密に役人  
をよこしたんでさ。

市長——おいおい途方もない考へをす  
るもんだ(何處へ君はとび込んだのだ)!  
しかも御利口な方がさ!(こんな)小さな  
町に陰謀! 此の町は國境の (apud'lima)  
町かい, え? 此處から三年も馬で行け  
るぜ(それでも)何處の國へも乗り着けら  
れはしない。

Delikata (秋の花のやうに) こまやか  
な優しい, たをやかな, きやしやな(姿),  
品のよい, (細工などの手のこんだ) 細か



な、絛緻な、(神經がこまやかで)敏感な、  
(こまかい處まで氣の届く)思ひやりのあ  
る、(こまかくてむつかしい事柄で)微妙  
な

Jen vidu そーらね(御覽なさい)  
と人の注意をひくための挿入句。

Fjodoroviĉ.—Ne, por diri al vi, vi  
ne tion..., vi ne... La estraro havas  
konsiderojn subtilajn: malgraŭ ke  
estas malproksime, ĝi tamen notas  
al si en la cerbo.

Urbestro.—Notas aŭ ne notas, sed  
mi vin, sinjoroj, avertis,—rigardu.  
En mia parto mi kelkajn disponojn  
jam faris, mi konsilas ankaŭ al vi,  
Artemij Filippoviĉ! Sendube la tra-  
veturanta oficisto volos antaŭ ĉio  
ĉirkaŭrigardi la kadukulejojn, kiuj  
estas sub via estreco, kaj tial faru  
tiamaniere ke ĉio estu konvena.

Fjodoroviĉ.—いや、全くの處、あな  
たがそんな...あなたがまさか...中央政  
府は頭がするどいですからね(敏感な考  
慮を持つてゐる): 遠くはあるんですが  
(malgraŭ ke...tamen) ちゃんと目星  
をつけてますさ(頭の中に記してゐる)。

市長——つけてようとつけてまいと  
さ、諸君、御注意(警告)しましたぞ——い  
いかね(御覽)。此の私としましては既に  
若干手配をしましたんぢや、Filippoviĉ  
さん、あんたにも御注意しますぞ! きつ  
と(疑もなく)巡回の(travetur'anta)役  
人は何よりも先づ(antaŭ ĉio) 貴君管  
下の(sub via estr'eco)養育院(kaduk'-  
ul'ejoj)を巡視したいと云ふですよ、で  
すから萬事そつのないやうに(應はしい  
くなつてゐるやうに)よろしくやつて置

きなされ。

Por diri al vi 『君に申しますが』で  
『直卒に云ふが、全くですよ、いゝですか  
ね』と己の云はんとする事に對して念を  
押す挿入句。類例: por diri la veron  
『實の處を申しますと、實は』。

Subtila (どんな隙間からでも漏る程)  
微細な、(微細で)捉へにくい程靈妙な、  
(微妙な動きとすぐ感ずる位)鋭敏な、目  
から鼻へぬけるやうな(才智)。

Malgraŭ....にも關らず〔前置詞〕  
接續詞としては必ず ke をつける。

Al si en la cerbo=en sia cerbo.

Noti 注意すべき事を心覚えのために  
(紙に)書きとめる、(頭に書き込んで)注  
意にとめる; noto 心覚え(の記入); noti  
en la memoro 心に覺えて置く、頭に入  
れて置く。

En mia flanko 私としては

Disponi あゝかうと事の處置をつけ  
る、(意の儘に)處理する、(勝手に或物を  
處理する、即ち隨意に)使用する。

Li disponas ĉion koncerne la soci-  
etajn aferojn. 會務に關しては彼が專行  
してゐる(處理してゐる)。

Ĉu tiu ĉi tablo estas disponebla?  
此のテーブルは空いてゐるのかい。

Mi estas ĉiam je (或は al) via  
dispono. 何時でも御用を御申付け下さ  
い(私のからだを御使用にまかす)。

Atentigi (一般に或事に)注意を向か  
せる、注意をひく  
Averti 前以て警告する

Konsili (相談にのつて)あゝしなさい  
かうしなさいと助言を與へる。

Kaduka (人の)老衰せる、(物の)老  
朽せる、消えなんとする。



# 日本 Esp. 運動の現状についての観察

## —— その 1: 演説 ——

川崎直一

表題がややものものしいが、實わただ  
思いつくままに順序をたてず、私一個の  
觀察をのべる。もとより學淺く、頭悪く、  
新米でそのうえ家にばかりひっこんでい  
る私の言葉——反對のところ、足りない  
ところわどうかおしかりください。

京都で學生雄辯大會が始められてから  
でも數年になる。概していえばだんだん  
上手な人がふえてきていると思う。が藤  
澤、小坂兩氏を除いてわ——私の聞いた  
範圍でわ——ものになつてゐる人わほと  
んどない。

藤澤親雄氏のわペラペラで白絹のよう  
に上品で美しい、まるで音樂を聞してい  
るように氣持がよい。氏のうまいことわ  
人々から數年間聞いていたが、「なにそれ  
ほど……」と思つていたが、始めて福岡  
で實際聞いたときにわ思わずウツトリと  
した。永松氏わ始めて聞いた晩あまりに  
感激してねつかれなかつたとかある雑誌  
に書かれた。淺田一氏わ Esp. の prak-  
tikeco を疑つていられたが、氏の演説を  
聞いて以來、熱心な仲間になられた。

小坂さんのわ技術的にわ完全なもので  
わない、が熱情そのものである。Espe-  
rantismo の眞の叫びである。

伊東三郎氏（近來私わ聞かないが）わ  
發音わ正しく（l と r の區別きわめて嚴  
格）で、スラスラしやべるが、intonacio  
が普通話しているときわ平凡に一本調子  
で、感情が爆發するとたちまち亂れてし  
まう（もつともどもりの關係もあるが）。

八木日出男氏のわハッキリしていて初  
學者にもよくわかる（これわひじょうに  
よいことである、むやみに早くしやべつ  
て人にわからぬようなことをやるのが演  
説のうまさでわない）、ただ母音が長すぎ  
て、そのためよい意味での子供らしさが  
ただよう（口にわひげがあるけれど）。

八木氏の正反對が淺井惠倫氏で、母音  
わみんな（akcentita silabo のそれも）  
ごくごく短い。まるで雀がチュツチュツ  
やつてゐるようで、聞きとりにくい。淺  
井さんわ大阪外語の言語學教授であつ  
て、あるいわ言語學の理論に立脚してい  
られるのかもしれないが、母音を全部か  
ならず短くするとゆうことわ Esp. 文法  
の規定としてわどこにもない。また實用  
上 rekomendinda なことでもないと思  
う、すくなくとも氏の演説を聞いた結果  
でわ。

進藤靜太郎氏わかつて單語を一つ一つ  
ポツポツ切つてやられた——それでもう  
すこし續けたらと進言した。このごろわ  
かなり續けかたに注意しておられる。が  
演説としてわ進藤氏の個性が十分發揮さ  
れてない——すなわち演説を自分のもの  
にしていな、まだ練習中とゆうような  
氣がする。Bela voĉo とおちついた態度  
の持主の彼だ。音聲學の本もだいぶ讀ん  
でゐる。私わ近き將來を期待する。

型のかわつたのわ福田國太郎氏（元  
SAT komitatano; Verda Utopio 誌發  
行）。尻上り式のおそろしくゆつくりし

【61 頁へ續く】



# 所 變 則 品 變

K. Ossaka

## 1. 「お早やう」

或る amika societo で度々極地に行つてエスキモー語の大家と云はれる人に一貴婦人が『お早やう』とは何と云ふかと尋ねた處知りませんとの答。お早やうと云ふやうな簡単な挨拶も知らぬ様ではあの人の Eskimo 語もあやしいと云ふ貴婦人の蔭口を聞いてその探險家笑つて曰く、極地では半年は晝で半年は夜、朝は一年に一度しかないのだから『お早やう』など云ふ挨拶はありやうがないと。所變れば品かはり、習慣、制度で云ひ方も異なる。國際語たる Esperanto は今日では時にその點で困ることが起る。然し Esp. の普及につれて習俗が交り將來は消滅するには相違ないが。

## 2. 「や あ」

知人が往來で出合ふ。『やあ』と一人が云へば、『どうだい』と他が應へる。『御機嫌いかゞですか』と云ふ程のしかつめらしさではないが、まあその意味のくだけた挨拶だ。此の挨拶を英語では Kiel vi faras? と云ひ、フランス人は Kiel vi vin portas? と云ひ、ドイツ人は Kiel ĝi iras al vi? と云ひ、ロシア人は Kiel vi vivas? と問ひ、イタリア人は Kiel vi staras? と尋ねる。嘗て支那では何と云ふかときいたら別に特別な挨拶がない、只黙つてゐるのだとの事。Esp. ではそこで Kiel vi fartas? と云ふことにきめた、依て farti は何と云ふ譯かと問はれると一寸まごつく。

## 3. Strato

日々新聞社が帝都復興道路につけた昭和通や、俗稱の銀座街は Strato Ŝooŭa, Strato Ginza と云へるが、他の町名、例へば新小川町の『町』は外國語には譯せない。Strato は街路につけた名で、その兩側にある家屋に番號をつけて家屋の番號とするのであるが、日本の『町』は地域につけた名で、従つて一つの街路の兩側の町名が異つたりする。『番地』も名の如く町の内の小地域につけた番號で同番號の土地に立つ家屋は同じ番號だ。従つて新小川町は Strato Ŝin-Ogaŭamaĉi とは譯せない。將來日本でも大正通、銀座通りにならつてザメンホフ街など云ふ命名は作られ得るが、その街路の住民は得々とザメンホフ街何番地と書くことは出来ないわけである。

米國では人も知る如く座標式に縦なるを何 Avenue と云ひ、横なるを第何番 Street と名づけるのが普通、例へば 7th Avenue, 113th Street など。それが Washington にゆくと 3rd St. と 4th St. の間に 3½ Street など云ふ分數付の町名がある。中々數學的だ。

此の點古都京都はアメリカ式である。

序に米國宛の手紙に番地を間違へて書くと郵便屋は氏名は見ずに其の番號の家へ抛り込んで行く。日本流に似寄つた番地なら何とかして届くだらうなどと思つたら大間違。



# **ESPERANTAJ** **LIBROJ** **RECENZO** 新刊紹介

★ザメンホフ讀本，城戸崎益敏編，財團法人日本エスペラント學會發行，1931；13×19 cm., p. 144；合冊定價 50 錢，送料 4 錢；分冊(三冊)各冊定價 20 錢，郵稅 2 錢。

中等程度の講習會用として，又初等を了へたる獨習者用としての適當な讀本がなくて在來困難してゐたが，本書は正にその缺陷を満すものと云ふべし。且つ如何なる Esp. の研究者も必ず研究玩味すべきは Zamenhof の諸著書であるが，本書は正にその研究への入門と云ふべく，第 I 卷は Z. 博士の翻譯物より 6 篇，第 II 卷はその原作より 14 篇を抜き，更に第 III 卷には Z. 博士傳，大會其他 Z. 博士に關する諸大家の記事を收めてあるので宛然 Zamenhof 大觀とも謂ふべし。且つ各篇有益なる註解を附し，Zamenhof 年表，研究參考書目錄等を附録してゐる。又 linotipo による印刷で用紙亦上等であるから鮮明美麗であり，150 頁 50 錢は讀本としても頗る廉價と云はねばならない。

★**VERDA KARTO**, de Eisaburo Iŝihara, trad. Hideo Jamanaka, eld. Japana Esperanto-Instituto, 1931; 13×19 cm., p. 184; prez. 3 sv. fr.+10% sendk., 定價一圓，郵稅六錢。

Kinema dramo gajninta la unuan premion ĉe la literatura konkurso donita de Osaka Asahi Ŝinbun, unu el la plej potencaj tagĵurnaloj, pri-skribas la socion post 50 jaroj, kiam la homaro, dividita klare en du klasojn ekspluatantan kaj ekspluatatan, kondukas plene materian vivon. Oni konas nur sian naciajn lingvon kaj internacian, Esperanton. Senlimaj ŝajnas elpensoj de maŝinoj kaj substancoj, reĝoj de la socio; tamen entia meĥanismo de vivo povas ekzisti, flanke de la malamo, ankaŭ la amo. Pruviĝas, ke, homa animo ne facile sklaviĝas sub la jugo de la materio, Jen konfliktoj ne kompromisigeblaj. La traduko havas vere mirinde bonan internacian stilon, kiu ebligas eĉ alilandajn legantojn plene ĝui la originalan intereson.

★**基本エスペラント講義**，京都龜岡町第二天聲社エスペラント普及會編，1931，15×22 cm., p. 47；定價 20 錢，郵稅 2 錢。

二十課より成り各課先づ單語，文章に依りて準備をなし，文法を講じたるもので初學者向の簡單にして要領を得たる講義である。

★**Fundamenta Kursolibro**, de la l. i. Esperanto, (基本エスペラント教科書)；京都府龜岡町エスペラント普及會編，1931；12×18 cm., p. 40；定價 25 錢，郵稅 2 錢。

初等讀本で外國語の素養なき邦人向の讀本甚だ尠き今日まことに珍重すべき著である。年中エスペラントを口にして居らるゝ大本エスペラント同人の編輯であ



るだけ實際に即したきのきいた讀本である。

★プロレタリアエスペラント講座, 第六卷, 鐵塔書院發行, 1931; 13×19 cm., p. 230; 定價 80 錢。

第五卷よりも更にむつかしい詩文二十篇を印刷したゞけで一語の註, 一行の解を附せず, 以て『講座』と稱して abonantoj に賣りつけんとするもの。編輯者の不精不親切極まれりと云ふべし。吾人が本誌昨年二月號に於て獻げたる讃辭と八月號にて呈したる苦言とを再讀三考して編者はよろしくダラ幹流指導方針を改めよ。〔小坂〕

★Fundamento de Animo, de Onisabro Deguči, eld. Oomoto-Propaganda Oficejo, 京都府龜岡町, 1931; 12.5×18 cm., p. 45; 定價 30 錢, 郵税 2 錢。

La ĉefo de Oomotismo, nova religio nun bone konata inter alilandanoj nur dank' al Esperanto, klarigas pri la homa spirito, postmorta vivo kaj spirita mondo.

出口王仁三郎氏靈界物語の附録として執筆される靈界に對する大本教の見解。

★Kruĵok Esperanto (Esperanto-Rondeto), Parto II · por gvidanto de rondeto, de S. Rublev, eld. SEU, 3-a eld. 1931; 18×24 cm., p. 30; prez. 25 kop.

ロシア人の爲めの講習用書 Esperanto-Rondeto の教師用書。卷首に教授注意事項を述べ, 各課にわたり説明を附す。

★エスペラント日記, 1932, 日本エスペラント會發行, 1931; 9×15 cm., 定價 50 錢, 郵税 4 錢。

Esp. 日記は英國協會が極めて小さな poŝkalendaro を, Heroldo がその廣告兼用で murkalendaro(掛け曆)を出した位のものでエス語日記帳は世界廣しと雖も本日記が最初のものであらう。何しろ日記は其年限りのもので, 本邦エス界現状では干部を賣る事は中々困難であらうから犠牲的の出版をしても高價なものになるので發行し兼ねる次第であるが, 今日本エス會發行の日記を手にして今更乍ら會長梶氏の頭のよさに感心した。何等日附等の刷込みのない罫紙を綴じたもので表装は同會特殊のこつたもの。罫紙の枚數は數へてみぬからわからぬが一頁二日分で勿論三百六七十日分はあることなるべく, 且つ何月何日からでも記し始められ, それも何も今年に限つたことはないと云ふ便利極まるものである。嘗て本學會が年鑑に掲げたるものとよく似たる年表等を附し, 且つ『大懸賞, 附録十五項つき』。(小坂)

~~~~~  
【58 頁より續く】

た——ここで文章でわとてもそのありさまを説明できないが——そして absolute senerara なもの。完全に個性的で, おそらく誰にも眞似ができまい。

女の方わ敬遠しておく。

最後にいまなほ耳の底に残つてゐるのわなくなられた松崎克己君のあのなだらかな, 自然的な調子である。



## 科學欄

小野田幸雄

## 原子の波動性

elektrono 電子  
 ondo'dinamiko 波動力學 (シュレーディンガーの創設した力學體系でハイゼンベルクの量子力學 kvanto'dinamiko と共に現代原子構造研究上に於ける一大武器である)

protono 陽子, 原子核

hidrogeno 水素

kristal'faco 結晶面

fluor'litio 弗化リチウム

reflekti 反射する

ondo'long'eco 波長

atoma ordo 原子排列

## 原子振動を記する音楽

gasoleno ガソリン

kordo 絃

ratio 比

molekulo 分子

Raman spektro ラマンスペクトル

jaz'orkestro ジャズオーケストラ

metil'alkoholo メチルアルコール

etil'alkoholo エチルアルコール

## 人工的極光

nitrogeno 窒素

spark'ado 放電

bor'acido'silicia

vitro 硼酸珪素硝子

## SCIENCA KRONIKO

J. Onoda

## Ondeco de atomoj

Estas jam provite de multefojaj eksperimentoj, ke ni povas atribui al elektronoj la ondecon laŭ lastatempa ondodinamiko. La ondecon povas havi ne nur la elektrono, sed ankaŭ kaj la protono kaj la atomo kaj aliaj ĝeneralaj objektoj. D-ro Thomas H. Johnson ĉe Franklin Instituto en Usono ĵetis fluon de hidrogenaj atomoj al kristalfaco el fluorlitio, observis la reflektiĝintajn atomojn, kaj studis rilaton inter ondolongeco de l' atomo kaj stato de l' atoma ordo sur kristalfaco.

## Muziko rekordanta atomoscilon

Laŭ la anonco de la gazeto "Science", D-ro Donald H. Andrews ĉe Johns Hopkins Universitato rekordis muzikan oscilon de ĥemiaj materioj: alkoholo, akvo, gasoleno k. c., kaj plue li eĉ ludis sur fortepiano. Li faris kordon, kiu precize prezentas ration de atomoscilo en la molekulo, eltrovitan en Raman-spektro de lumo: ekzemple por alkoholo ekzistas sep akordaj sonoj. D-ro Andrews diras, ke li povas verki "ĥemian operon" per tiu "ĥemia kordo". Laŭ li gasoleno sonas kiel iu ĵazorkestro, pro malakorda kuniĝo de multaj senrilataj tonoj, kaj metilalkoholo havas akran krudan sonon diference de etilalkoholo, kaj akvo eligas misteran nedolĉan, sed agrablan sonon. Ĉu ne estas tre interesege?

## Artefarita aŭroro

Oni scias bone, ke en la spektro de aŭroro aperas ruĝa kaj verda speciala radio. Kaj oni ofte imagis tiun originon, ke ĝi devenus de nitrogeno pro sparkado sur la ĉielo pli ol 100 mejlojn alta. En proksima tempo, D-ro Joseph Kaplan, ĉe Universitato de Kalifornio en Los Angeles, elaerigis tubon el boracidossilicia vitro ĝis fariĝis



milionono da atmosfera premo, kaj sparkis sub 25000 voltoj dum kelkaj semajnoj. Ĉar pro tio malmulte restinta nitrogeno kaj oksigeno preskaŭ malaperis, li enirigis ilin de ekstero. En la fino de tiu ĉi eksperimento li povis krei ruĝetan aŭroron. Oni pensas, ke la kaŭzo de malsukceso en ĝisnunaj samaj eksperimentoj kredeble kuŝus en influo de vitrotubo.

## Nova Kometo Eltrovita

En la lasta jaro nova kometo estas eltrovita de amatora astronomo, S-ro Nagata, dume nun alia nova kometo estas eltrovita de angla amatora astronomo, S-ro Pery Magow Ryves, kiu loĝas ĉe Zarsgoza en Hispanujo. Laŭ la observo de Prof. Van Biesbroek ĉe Yerkes astroobservejo, la pozicio de la kometo estis  $8^h 4^m 32.5^s$  en ekvatora longitudo,  $22^\circ 24' 46''$  en ekvatora latitudo norden: "Kankro", kaj leviĝis je 1.5 horoj maksimume antaŭ sunleviĝo. Fotografi ĝin estas malfacile pro neeblo de longatempa ekspono, tamen la grandeco estas preskaŭ 4-grada, kaj tiu estas bone videbla nudokule. Oni povis vidi ĉe en la tago la kometon Skjellerup, kiu aperis en decembro de 1927, sed tiu ĉi kometo Ryves estas la plej hela el la sekvantaj. Kaj laŭ la kalkulo de S-ro L. E. Cunningham ĉe astroobservejo en kolegio Harvard, ĝi atingis perihelion en la 25-a de aŭgusto. Vere la brileco pligrandiĝas venussimile, kaj ĉe en la tago oni povis klare vidi maldekstre malsupre de la suno.

## Ĉu Vere la Universo Pligrandiĝas?

Ĉe la astroobservejo de Monro Wilson, S-ro Milton L. Humson fotografis spektron de la plej malforte brilanta nebulozo, kiun antaŭe eltrovis S-ro William H. Christle ĉe la observejo per granda teleskopo cent-cola; kaj li trovis, ke la spektraj linioj videble ŝanĝas siajn poziciojn al ruĝa. Se oni klarigas grandecon de la ŝanĝo, ke ĝi devenas de la nebulozo malproksimiĝanta for de la tero, tiu rapido

volto ボルト

oksigeno 酸素

新彗星の発見

amatora astronomo

素人天文家

astr'observ'ejo 天

文臺

ekvatora longitudo

赤經

ekvatora latitudo

赤緯

参考:

ekvatoro 赤道

longitudo 經度

latitudo 緯度

Kankro かに座(星座名)

ekspono 露出

4-grada 四等星

perihelio 近日點

venus'simile 金星の様に

宇宙は果して擴大

しつゝあるか

nebulozo 星座

la spektraj linioj

videble ... スペ

クトル線が目立

つて赤の方へ變

位する



radiala rapido 視  
線速度  
cent dudek milionaj  
lum'jaroj 一億二  
千萬光年  
kurb'eco 曲率  
tri'dimensia sfero  
三次元球  
粉の大きさを  
定める方法  
diametro 直徑  
du'um'radiko 平方  
根  
produto 乘積  
rapido 速度（物理  
學上に於ける）  
rapid'eco 速さ  
Stokes'a formulo  
ストークスの公  
式  
Kôîci Kasai 笠井  
康一  
mikr'ero 微粒子  
elips'solido 橢圓體  
relativa surfaca  
areo 相對的表面  
積  
al'sorbo 吸着  
korodi 腐蝕さす

vere estas 11000 mejloj ĉiusekunde, kaj ĝi estas pli granda je 60 % ol iu ajn sama radiala rapido observita ĝisnune. Ĉar la distanco al la nebulozo estas kalkulita je preskaŭ cent dudek milionaj lumjaroj, ni ne povas tuj fidi, ke tiu kuras al la ekstremo de la universo kun tiel mirinda rapideco. Kvankam lastatempe ĵurnalo en nia lando anoncis, ke tiu fenomeno montras al ni inklinon de pli grandaĝo de la universo, tamen nuntempe ni devas solvi prefere per la teorio pri la universo de Prof. Einstein. Laŭ la profesoro la universa spaco havas kurbecon kiel tridi-mensia sfero, kaj tial la spektraj linioj ŝanĝas siajn poziciojn al ruĝa parto en la lumo elveninta de nebulozo malproksima kiel ni supre skribis.

### Metodo Determini Grandecon de Faruno

Sciigi grandecon de faruna grajno estas necese por industrio kaj scienco, tamen ankoraŭ ne estas decidite, kiel oni difinas ĝin. Multe ekzistas da similaj pensoj: iu difinas ĝin per diametro sub mikroskopo, iu per duum-radiko de produto de vasteco kaj longeco sub mikroskopo, iu enkondukas plue eĉ altecon. Kaj ankaŭ ekzistas jena metodo, ke unue oni observas rapidon de faruno falanta en fluidaĵon, kaj due kalkulas per Stokes'a formulo pri falrapido. En proksima tempo S-ro Kôîci Kasai mikroskope mezuris diametron kaj projekcian areon, ankaŭ surfacan areon, kaj elkalkulis la grandecon kun supozo, ke mikrero havas elipssolidon. Kiam ero estas kruda, mezurado de surfaca areo estas sukcesita per metodo de solvado en fluorhidrogeno; kaj relativa surfaca areo de tre malgranda mikrero ja per la metodo de alsorbo. Por havi precizan valoron ni devas pensi pri malmultiĝo de korodiĝinta surfaco, kiam oni korodas ĝin en fluorhidrogeno. Tiel mezurita grandeco de faruno estas preskaŭ sama al tiu mezurita per Stokes'a formulo.



# DU KRIPLULOJ

Kiogeno (Farso) esperantigita kaj prezentita de studentoj-esperantistoj  
ĉe la 19-a Kongreso de Japanaj Esperantistoj.

*C. Takaŝi.*

## (Daŭrigo)

L.—He, vi deklamos por mi el Hamleto? Bonege! nu deklamu.

K.—Sed, ĉar vi estas surda, ankaŭ mi kiel signale levos mian manon  
ĉe la fino. Tiam vi aplaŭdu.

L.—Do, vi la manon levos?

K.—Jes, mi levos.

L.—Do, mi tiam aplaŭdos, nu deklamu.

K.—Bone, nu mi ekdeklamos. (Solene ekdeklamas kun ritmo.)

Ho, kial ne pereas la surdulo,  
Ne dissolviĝas kiel ros' sur herbo!  
Ho, lin insulti al mi vi permesu,  
La plejpotenca Dio mia granda!  
Ho, kiel bestaj kaj abomenindaj  
Aperas ĉiuj agoj de li surda!  
Timema, sed malica viro!  
Malsaĝa stultulo fia!  
Azeno! Via nom' estas: surdulo!

(Dum la deklamado, L. antaŭe, observante la buŝmovojn de K., vane penas kompreni lin, sed poste, tion rezigninte gapas stulte. Nun fininte deklami, K. levos la manon.)

L. (Aplaŭdante)—Bone, bone, kiel amuze vi deklamas!

K. (Jam ne povante subpremi ridon)—Hahahaha... malfeliĉa surdulo  
neniom scias, ke li estis insultata... hahahahaha...! Kaj tiele ĝojegas,  
hahahahahahaha... amuze... hahahahaha...!

L. (Ofendite)—Ha, ankaŭ ĉi-foje li ridegaĉas. Hm, do, li eble min  
insultis dum la deklamado. Denove mi dankos lin. (Al K.) He, Kuiĉi!  
Tre amuze mi ĝuis la strofon el Hamleto. Mi volas ankoraŭfoje por vi  
danci.

K.—Ha, vi ankoraŭfoje dancos?

L.—Jes, mi dancos.

K.—Bone, dancu!

L.—La signalo estos kiel antaŭe; t. e. mi mantuŝos vian vizaĝon.

K.—Bone, tuŝu mian vizaĝon, tiam mi aplaŭdos.

L. (Ek dancas)—

Fremdan homon mi renkontis



Belan lingvon paroladantan,  
 Verdan stelon brustportantan.  
 Fremdan homon mi renkontis!  
 Scivoleme mi demandis:  
 Kian nomon do vi havas?  
 Kian lingvon vi parolas?  
 Scivoleme mi demandis.  
 Gaje milde li respondis:  
 Esperanto mi min nomas;  
 Esperanton mi parolas.  
 Gaje milde li respondis.  
 Fremdan homon mi renkontis  
 Belan lingvon paroladantan,  
 Verdan stelon brustportantan.  
 Fremdan homon mi renkontis.

(Dum la dancado, L. agas kiel antaŭe, kaj K. sinpreparante por io atendas. Nun, fininte danci, L. tuŝas blindulan vizaĝon per la piedo.)

K.—Nu, vidu! (Kaptas al li la piedon, kaj lin ĉirkaŭtrenas.) Bone, bone, kiel amuze vi dancas!

L.—Aj, aj, aj, kion vi faras? aj, aj, aj, aj....!

K.—Al vi malbonulo, mi tiamaniere dankas....! (Faligas lin.)

L.—Blindulaĉo! Vidu, ankaŭ mi vin dankas. (Palpantan lin kaptas ĉe l' piedo, kaj lin ĉirkaŭtrenas.)

K.—Aj, aj, aj, kion vi faras? aj, aj, aj, aj....!

L.—Jen! (Lin faligas, kaj rigardante) Hahahaha.....Adiaŭ! (Foriras.)

K. (Palpe postkurante)—He-ej! Ĉu estas dece tiel min blindulon trakti? Hej, atendu, atendu,...atendu, he-ej atendu! (LA FINO)

## 洋書値上急告

金再禁輸に伴ひ本邦圓貨暴落、マルク七十五錢、佛國フラン十二錢餘、  
 スイスフラン六十錢替へと云ふ有様で、新圖書目錄に見らるゝ如く輸入洋  
 書の大部分は値上げの止むなきに至りました。然し本號に廣告所掲の圖書  
 は在庫がありますので、當分の中本會々員に限り舊定價を以てお需めに應  
 じることになりました。



# 海外報道

## EKSTERLANDA KRONIKO

小野田幸雄

### 世界の 에스語熱

★スペイン 文部大臣 Marcelino Domingo 氏に此の度 에스語自由講座開講の爲、スペイン 에스ベラント學會に 50,000 リラの補助金を出すべく豫算を立て、其の事を議員であり豫算編成委員であり、且つ吾等の同志の一人なる Francisco Azorín 氏に固く約した。此の金に依りてスペイン 에스學會に Barcelona, Gerona, Palma de Mallorca, Zaragoza, Valencia, Córdoba, Sevilla, Madrid, Bilbao, Gijón, Ferrol, Badajoz 及 Orense の十三都市に公立 에스語自由大學を設ける事になるのである。學會は亦此の各講座に對し、エス語修了の折、會話の成績優秀の者二名宛を選び、パリに開かるべき萬國大會へ参加させるこのプレミアムを附けている。

Bilbao 當地の會で去年の十二月、創立第二十五週年記念會が開かれた。又講習に多くの聴講者あり活氣漲る。無料講習の舊慣を廢し小額の會費を徴収する事にした爲皆非常に熱心である。

★チェコスロヴァキア Praha エス聯盟 Verda Stelo で、Hebbel の悲劇 „Maria Magdalena” Goethe の „La suferoj de l' juna Werther” 等の翻譯者として有名な聯盟長 A. Bischitzky 博士の満60歳祝賀會を催した

★ハンガリー Budapest 12月6日 Scherer 氏來る。同夜直ちに Continental ホテルに於て講演會が開かれた。翌7日の晩は銀行員の會合で獨語に依り、8日に HES の會で 에스語に依り講演す。

★ブルガリア Plovdiv 冬季大學わやがて會話の練習に入らんとし、初學者の爲の講習も間もなく開かれんとしている。

★ユーゴスラヴィア Zagreb 去年の Krakovo の大會中、エスベランティスト學生クラ

ブは 1932 年に於ける國際學生團の中心と名付けられた。當クラブは今や大活動の期に入りつゝある。Zagreb 放送局でわクラブ員に對し毎月十四日に、エス語に依る、又わエス語に關する講演の放送を許可した。

Jesenice 當地の會でわ活動寫眞館 „Radio” に繼續的のエス語宣傳廣告をす。

★ギリシア Ateno PTT の ĝenerala direkcio の決定に依れば、かの有名な Stamatiadis 博士に PTT の公民學校に於て講習開講の事。11月22日、獨逸人クラブ „Philadelphia” に於て Helena Esp.-Asocio 及 Helena Virina Esp.-Ligo 主催の舞踏會催され大盛會であつた。又國內の新聞わエス語に關心を持ち始めた。其の一つの現われとして、最も多くの讀者を有する „Eleutheros Anthropolos” は11月16日附の紙面に „Esperanto en Grekujo” なる見出しの下に長文がものされた。

★エジプト Fayoum 新たな grupo „La fratenco” が設けられた。當會は亦無料夜間講習及全エジプト並びにアラビア各地を連ねる通信講習網の實現を期す。そして後者即ち通信講習は已に開始されている。

★オーストリア Wien Wien エス會でわ本年1月20日より3月20日迄 Ĉe-kurso を開くべく Morariu 夫妻と契約を結んだ。

★ドイツ Heidelberg エス語熱は次第に高まりつゝある。若い平和論者の團體でわ M. Braun 氏指導の下に講習開かれ、又個人的の會としてわ „Intelektula rondo esperantista” あり。何れも會員は少數だが熱度わそれに反比例している。

Chemnitz 立錫の餘地も無くぎつしりと詰つた高等公民學校の大廣間に Morariu 氏夫妻は驚くべき熱心さを以て己が祖國、スイスミルーマニアに就いて數萬言を述べた。暴風の如き拍手は彼をしてエス語教育界の王者たるの地位を感ぜしめた。

Döbeln 當地に於ても Morariu 氏の人氣は大したもの。活動寫眞館 „Central Theater” に於て幻燈を用いてスイスの物語。司會者 Schmidt 氏、獨語に譯す。集まる者 332 名。

Köln 同志 Rausch 氏無職者の講習を開く。

Bochum-Langendreer 當市の當局は青年會館の無料部屋を、無職者の爲の無料講習にあてるべく貸與した。そこで毎週二回の講習。50名の聴講者は熱心に Heiner Zanders 氏の指導を受けている。

Frankfurt a M. 多くの講習開かれ活氣旺盛。



★英國 Southend-on-Sea 11月13日大盛會な會合が行われた。それにわ日本からの川原氏が出席し、今の、又昔の日本に關して興味深い話をされた。

London 11月20日 E. W. Outen 氏わ數人の人と蓄音機との助けを借り Mendelssohn の音樂に就いて一場の講演をした。Sturmer 氏わ11月24日、特に英國以外の國に關する殖民地組織に就き話した。又 Long 氏わ12月4日「太陽と遊星」と題して物語る處あつた。事程さ様に當地に於けるエス語熱わ盛んである。

★ベルギー Jette 11月19日、折疊式ボードで世界めぐりをしている獨逸の同志 Schmidt 氏來り、市公開堂の大ホールに於て幻燈を用いての大講演會あり。聴集 300 人以上。

★スエーデン Uplanda distrikto 講習わ Upsala に於て 15 名、Vänge に於て 16 名、Funbo に於て 25 名の聴講者を有し盛大。何れも講師わ Tunón 氏、方法わ Ĉe-metodo. 此の他 Tierp 及 Örbyhus の町にも講習開かれ、次第に綠色濃くなつてくる。

Malmberget 11月1日より Laborista Kle-riga Asocio の五つの團體わエス語の研究を始めた。初學者の爲の組わ午前及夜の二部に分たれメンバー締めて約 80 名、中等程度の者の爲の組も、朝晩の二部に分たれメンバー締めて約 65 名。其の他當地の視學部でわ公民學校の最終の級の爲 55 名の男女生徒より成る講習を開いた。此の講習の始めに當り N. Ruus 氏わ「現代のエスペラント」と題して放送講演を行つたのである。

★ノルウェー Kongsberg Arne Arnessen わ 11月7日、學校 „Vestsiden” に於てエス語に關し講演す。70名の聴講者中半数わ教師であつた。其の中にわ又視學の顔も見えた。

Oslo 12月1日 Eep-ista クラブでわルーマニアの夕べが催された。幻燈、講演、詩の朗讀及民謡あり。約 85 名の參會者あり、ルーマニア副領事も出席された。

Trondhjem 11月16日 Katedral Skole の大講堂に於て講習生募集の夕べを行う。參會者 400 名以上。D-ro Fischer, Ĉe-metodo の見本を示す。そこでたちまち 120 名の會員を得た。其の中にわ 20 名の男女教師、3 名の教授、4 名の新聞記者、及其他の多くの男女學生がある。餘りに會員が多過ぎるが爲二組に分けて平行に教授せればならなかつた。11月30日には中立及勞働者の二つの grupo が再び建てられた。總てわ此の北の都の古い先驅者 Lövli 氏の切り盛りのお蔭である。

## 諸君の支持を待つ

去年の始め、獨逸 Mainz に萬國兒童教育法に關する協會が出來、其の中にわ世界各國に於ける教育に關する總ゆる物が陳列されてある。已に 60 の部屋が準備されているが、猶近い中に 100 室増すとの事である。處が此處にエス語運動にさり重大な事が起つた、と云ふのわ此の協會内に特別にエス語部が設けられたのである。大國際兒童教育協會 (granda internacia petagogia instituto) にわエスペラント學校に關する萬般の事が示される事が先づ何よりも必要である。そこで西南獨逸エスペラント聯盟わ、エス語部に陳列すべき材料編纂の件を協會の理事から委任され、今や全世界のエス語團體に手紙を送り材料寄贈を願つてゐる。

吾々わ此の部屋を賑わすべく最新刊の雜誌エス語讀本、エス語辭典等の送附及エス語書籍の出版所所在地の報告等をする義務がある此の協會にわ獨逸及他國各地の教育家が訪れるので、吾々の出版物が此處に陳列される事わ廣告的價值から云つても效果 100 % と云う譯だ。宛名わ Sud-Okcidentgermana Esperanto-Ligo, Germanujo, Wiesbaden, Walkmühlstr. 25.

## エスペラント百科全書

最近に至つて、我がエスペラント出版界は種々の重要なエス書を刊行して來た。曰く、P. Stojan の Bibliografio, 曰く、Plena Vortaro de Esperanto, 曰く、Originala Verkaro de Zamenhof, 曰く、En Okcidento Nenio Nova, 等々、エス語が如何ばかり進歩發達したものであるかを示すに足る立派な書物を提供したのであつた。然るに今又吾等エスペラントイストにさり必要缺くべからざる Esperanto-enciklopedio 刊行の報が傳えられた事わ吾等の大なる喜びとする處であらねばならぬ。其の中には運動、歴史、文學、宣傳、指導者等エスペラントに關する總ゆる事項が藏されているとの事。此の大著わロシアの I. Ŝirjaev 氏の原稿を基底とし、それを V. Bleier, K. Kalocsay, L. Kókény の諸氏が編輯しているのである。然し此の事業たるや決して數名の人間のよくし得べき事でわない。此の書物をして名著たらしめるも駄著たらしめるも一に懸つて大衆の支持如何に存する。同志よ、意見あらば述べよ、記事あらば送れ、宛名、Literatura Mondo, Budapest IX, Mestern. 53. V. 7. por Enciklopedio.





★締切は毎月十五日。★報道は廿字詰原稿用紙日本語にて横書き廿行以内。★封筒にわ内地報道と明記の事。★写真返送希望の向は豫め返送料同封の事(なるべく寄贈されたい)。★地方會の設立は五名以上の支持者を要す。★「會員の聲」投稿は二百字以内。

編者 露木清彦

## 72-a Datreveno de Zamenhof-Nasko

——各地ザメンホフ祭——

すべてのエスペランティストに最も重大な意義を持つザメンホフ祭は12月15日ザ博士の誕生日前後を期して全世界に到る處、その都市なるも僻村なるをも問はず等しく同志相集い共に共にザ博士の隆誕を壽ぐの日である。この日或は燭光燦然たる大廣間に緑星旗を張り圍らしザ博士の肖像を掲げ、或は古りたる爐邊に僅か數人がエスパーロに始まりザメンホフを追憶し人類の爲に新たなる約束をなしタギーデヨに結ぶその様式は千差萬別であつた。此の全世界を蔽う國際的大連鎖の輝やかしき祝典よ、年々人類と共に榮光あれ。

### ——三放送局の奉仕——

★JOHK 仙臺、15日19時30分「國際語エスペラントの使命と本質」松隈武彦氏。

★JODK 京城、15日19時30分「ザメンホフ祭にあたりて」大山時雄氏。

★JFAK 臺北、15日19時より25分「エスペラントに就いて」甲斐三郎氏。エス語ラジオドラマ「サロメ・第五場」安田勇吉氏指揮、臺北エス會々員。

#### 關東

〔東京〕成蹊エス會 17日17時より大久保にて第二回成蹊エス會ザ祭に併せて忘年會を催す。尋常科よりも多數參加し、20餘名出席。先輩岩下氏のZ.の逸話數篇。守隨氏國際語の發展史。三上先生、菅野、川俣、小此木諸先輩の種々の觀點より見たZ.につき話し、終つて忘年會に移り21時散會。

★横商エス會 學生 esp-isto の少い横濱でわ「横商エス會」は當地エス語運動にまつて力強い存在である。同校でわ21日の試験明けをトして、高村氏を中心に中堅學生 15 名程會しZ. 祭舉行。學生としてのエス語研究法及びその宣傳方法等につき熱心に考究。

#### 北海道

苫小牧エス會 15日19時より富士館食堂にて開催。門脇氏司會にて西村氏わザ博士傳に併せてエス語の普及史を述べ、渡部氏わかれて往訪せる北米エス運動の現状を語る。終つて苫小牧エス會の組織化を議し講習會の打合せなど。

★小樽エス會 18日19時30分より稲穂町第十五部菊屋にて催した。當日は近來にない極寒にも拘らず會するもの20餘名に及びなごやかに一夕を緑の雰圍氣にひたり23時散會。

#### 東北

弘前エス會 15日18時より土手町開雲堂茶寮にて開催した5人の同志が集會して、ザメンホフ傳を読み今後の活動を約して記念撮影。

★秋田：横手エス會 21日18時より横手圖書館で開催、會場にわエス語圖書360餘種及び其他を陳列して一般の觀覽に供した。中田幹事わ „ Bibliografio de Z “ を朗讀和譯し、座談會にてわ機關紙 Burgono の編輯方法等につき協議し23時すぎ散會した。

★仙臺エス會 13日13時より政岡屋に開催出席35名あり各方面の挨拶、祝辭に次ぎ演說餘興、福引などあり17時半すぎ散會。





〔苫小牧エス會のザメンホフ祭〕



〔秋田縣横手エス會のザメンホフ祭〕

## 中部

**富山エス會** 15日夜松月食堂にて Z. 祭、Librofesto、會旗樹立祝賀會、機關紙 „La Sprono“ 發刊祝賀會等を兼ねて催した。大暴風雨にも拘らず會するもの十數名。

★**長野エス會** 翁町長野クラブ支店に於て15日18時30分より開催、24名参加。梶間會長の開會の辭に始まり、合唱、感想談等あり愉快に一夕を過して21時30分散會。

★**名古屋** 15日18時半より80餘名の出席者により新愛知講堂にて開催された。名古屋に於ける各エス團體代表の挨拶、醫大エス會の寸劇わ腹の皮をよらせカンパラーノ H 君の「太郎の演説」に正に20世紀の奇蹟を思わしめた。

★**新潟：北越エス會** 17時より聖心學園にて、會するもの16名。久保氏立つてザ博士の悩み多き生涯を述べ多大の感銘を出席者に與う。茶菓に時を過し、教授法につき協議す。

## 近畿

**大阪エス會** 15日19時より住友クラブにて。„Vivo de Z.“ の一節朗讀——山中氏、„Preĝo sub la Verda Standardo“ 朗讀——進藤氏、„Z. と佛文學“ 川崎氏、Rakonto „Tamen ĝi moviĝas“ 松本氏、「大阪エス運動追憶」相坂氏、等々。

★**京都エス聯盟總會** 15日19時よりスター食堂にて。出席30名。種々 Z. に關する話あり。

★**普及會綾部支部** 15日、Parolado, kanto, danco 等があり餘興に歌劇「女王の當惑」二幕、及び「Supernacio」二幕の上演があつた。

★**神戸エス協會** 15日19時20分より開催。参加者26人、前田氏司會にて會の經過報告、月本氏の Z. に關する演説、出席者有志の餘興、かくし藝などあり21時30分閉會。

## 四國

**高知エスクラブ** 5日夜カフェーブラジルで國際語誕生記念日を祝う小宴を張り、15日わ岡田氏方に記念茶話會を開いてザ博士のこゝろ、エス語のこゝろを話し

新たな活動を約束した。

## 九州

**福岡エス會** 15日19時より西中州、水上閣に於て、あいにくと大雨にて會するもの例年に比し少なく11名、然し皆闘志満々たる者ばかりで氣焰萬丈。

★**田川エス會** 13日13時より田川高女にて開會。學術講演會、協議會の後親睦茶話會を催し楽しく半日を過し17時閉會。

★**筑豊エス聯盟** 13日ザ祭を兼ねて第一回大會を催す。學術講演わ山本氏の郷土科學とエス語、日高氏の人間道とエス語の二つ。

★**大分、別府エス會** 15日夕、大分市住吉樓で記念晚餐會を開催。集る同好者20餘名、晚餐後「ザメンホフ博士について」の麻生氏の話があり竹崎教諭の「La vojo」の詩の解説あり餘興十六ミリ映畫、福引等あり22時半散會。

★**長崎エスクラブ** 13日14時より三菱俱樂部にてエス語演説大會を催し、バザー式による宴會を開き17時よりザ祭に移る。「ザ博士の頌辭」淺田、高原、植田の三氏、各代表の挨拶、餘興にわ舞踊、手品、合奏、上演劇にわ „Per Kio Homoj Vivas“ (エス語)「父歸る」「ルンペン地蔵」(日本語)等あり。

## 鮮滿臺

〔京城〕**朝鮮エス聯盟** 15日9時より金谷園に於て開催す。

★**長春エス會** 13日13時より高等女學校地歴教室にて開催した。時局の關係で出席者も少なくさみしいものであつたが何れも眞剣に語り合ひ向後の努力を誓い夕刻散會した。

★〔臺北〕**臺灣エス學會** 15日19時より稻江義塾に於てザ祭を兼ねて總會を開催、規約改正、委員選舉其他新春より爲すべき事項等を議決した。

★**臺北エス會** 新高喫茶店樓上に集りJFAKを通じての「エスペラントの夕」を聴き、出演者の到來を待つて verda atmosfero の裡にザ博士を憶い印象深き一夕を送つた。





[Zamenhof Tago en Beppu, Oita,  
15-an, Dec.-31]



[Festo por Zamenhof-Nasko en  
Coşun, 13-an, Dec.-31]

## 井上萬壽藏氏の外遊を 見送る

〔東京〕 當學會監事、鐵道省事務官井上萬壽藏氏は去る12月17日12時30分東京發にて横濱に向い16時出帆の淺間丸にて米國へ外遊の第一歩を踏まれた。これより先東京驛でわ小坂氏をはじめ學會の理事、評議員諸氏、都下に於ける多數の同志、及び鐵道エス會々員十數名を見送り人の押し合うホームで氏を綠星旗を以つて圍み「エスパーロ」の合唱で送出を祝う。更に有志十數名は横濱埠頭まで見送り、横濱エス會の同志や平塚の清水勝雄氏も加わり「エスパーロ」を數回合唱して氏の前途を祝福する。

★學會例會 12月30日納會、1月2日臨時初顔合せ會、出席二十名。Espero や Privat の „Linguaphone“ レコードを聴き、唱歌の合唱、雜談で愉快に一晩遊んだ、然し早くも六日より新用書ザ讀本の輪講研究に入つた。茶話會は例により唱歌の練習などで大に賑つてゐる。

### 横濱

神奈川縣聯盟月例會 12月20日14時より森永キャンデーにて。清水、林、松葉諸氏の出席を見なかつたの残念であつたが、それでも會するもの40名に達し頗る盛會。東京より F-ino Alexander 出席 „Bahaa Movado kaj Esperanto“ につき講演。

★Verda Jupitero 毎週木曜日(19h.-21h.)有隣堂食堂にて會合。最近新しい同志など加わり勢を得て來た。

### 仙臺

★11月23日初等講習生を迎えヒロセにて親睦會開催。21名出席。和氣霽々の中に閉會。

★28日夕來仙中の櫻田一郎氏歡迎會をヒロセにて開く。出席者 SES 會員12名。

### 敦賀

1月9日夜辻村氏方で第四回研究會を開催。朝來の悪天候と雪のため豫定より集會者少く7名集合 Espero, Tagiĝo を合唱し愉快な一夜を過す。次回にわ美しい samideaninoj 2名が参加する筈。

### 新潟

北越エス會 1月8日青柳喫茶店にて新年の會を開いた。大學の同志と共に會するもの12名、規則の一部改正後直ちに雜談に移り將來 R. O. えの購讀者を増すように努力を聲明した。

### 大阪

大阪エス會 1月11日。中等講習開始、受講者 15 名。講師山中、奥村。週二回月木十週間。用書エス講習書後篇其他 presajo.

★1月12日、初例會。出席者 25 名。各出席者の年頭所感並に paroleto. 川崎氏 Wüster 著書中の一節「東洋に於ける Esp.」紹介。

★1月13日、初等講習開始、受講者 20 名。講師進藤、西村。週二回水土十週間、用書エス講習書前篇。

### 長崎

12月20日19時より出島内外俱樂部にて昨年度最後の集會をなせり。先ず鋤焼に舌鼓を打ち別室に移り暖爐を圍みザメンホッフ祭の話に花を咲かす。—— Oratoroj えの讃辭、餘興の批評、名俳優連の苦心談等々等。

### —— 宮崎エス會創立 ——

北九州の隆盛なるに比し南九州は常に不振を遺憾としてゐたが宮崎市の古い同志橋本竹彦氏、郵便局の渡邊毅氏及び今度赴任された神都電氣の堀内恭二氏等發起の下にエス會設立を計畫中の處、12月15日ザ祭を期して多數同志の賛同を得て發會式を行つた。出席者わ20名以上に上り、會長にわ日野巖博士、副會長に橋本氏を推し外に委員數名を擧げた。毎月5の日を會合日とし文華堂書店にて研究會。





Zamenhofa Festo en Nagasaki, 1931 [長崎エス・クラブのザメンホフ祭]

## 高知

1月4日縣立師範學校で開かれた歴史に関する小學校教員の講習會を期として岡田逸雄氏わエス語の宣傳講演をやりピラを配布した。同校の同志古澤教頭の骨折りである。

## 長春

長春エス會も昨年1月成立以來順調に成長して來たが9月事變發生と共に會場も軍隊の事務室や宿泊所にあてられ且お互いに何れも多忙を極めた關係上研究會を久しく休んでゐたが近頃又木曜日夕に六七名が會合してゐる、尙月水金の夜にわ淵田氏方に集合して特別研究會を開いてゐる。零下20度以下の寒さにもめげず熱心に出席する同志がある。

## 學校だより

〔東京：第一早高〕最近理科で全級50人の内13人が rondo を作つて勉強しだした。

〔早大〕「新運動方向と新組織方針」なるパンフレットを出版す。内容：1. 何故我々わエス語を學ぶか。2. 我々の運動方向と任務。3. 基本的活動をクラスえ。4. 組織圖解等。

〔東北帝大醫學部〕11月22日13時より第一回エス演說會を開催。席上吉田氏の「サルバン酸の中毒」なる演說あり、11名出席。

〔二高エス會〕11月22日總會を開く。新委員を決定、會員28名の名簿作成。

〔名古屋醫大〕カルロの輪讀を終り次の材料としてザ讀本を使用することに決定。

〔京都學生聯盟〕毎月第一土曜日例會、第四木曜日委員會。

〔大分：大野中學校〕1月16日から櫻谷氏を指導者に11人が研究をはじめた。

## 臺灣エス界近況

〔臺中〕★11月中旬、普及の爲に來臺の廣瀨武夫氏の講演會を機として、臺中商業學校でわ俄かにエス語愛好者多數に上り同校々長内田氏、教頭高橋氏指導の下に30餘名が研究を開始。

★臺中市に於て催された此の講演會に刺戟されて臺中州廳内にわ地方課、教育課、衛生課等に多數同志が出來た。

★11月20日、臺中醫院内に於て津野田院長をはじめ20餘名の醫員が集り研究を開始。

★11月25日、師範學校に於ても廣瀨氏の講演を歓迎して以來希望者續出、その他臺中中學、高等女學校、郵便局等にて同氏の講演會が開催された。

〔嘉義〕12月12日、廣瀨氏の「商工業とエス語」の講話を受けてより即座に研究會を組織して十數名が研究を始めた。

★12月13日、農林學校にて廣瀨氏の「國際語問題」の一時間半にわたる講演により希望者だけでも120名に上り各自エス講座及捷徑によつて隨意研究を始めた。

〔臺北〕臺灣エス學會主催の講習會わ10月30日より12月14日まで稻江義塾に於て開催、73名。その半數わ労働者で毎週月水金の三回。

★12月20日14時よりヒトミに於て中央委員會を開催、此の委員會に於て決議された事項の内最も注目すべきわ講習書とエス和及和エス辭典の刊行のこゝである。

★臺北エス會 1月10日13時甲斐氏方にて初會合、前臺北エス會長杉本良氏（目下東京在住）7日來臺、12日にわ盛大な歡迎會が催された。



## 東京學生聯盟委員會規約

1. 各學校ヨリ二名選出サレタル者ニシテ各學校ヲ代表ス。委員ヤムヲ得ザル場合ハ代理委員ヲ認ムルコトアルベシ。
2. 毎年十一月又ハ十二月ニ改選サル、但シ再選ヲサマタゲズ。
3. 委員又ハ代理委員ハ委員會ニテ發言權投票權ヲ有ス。
4. 委員二名ノ連署ヲモツテ臨時委員會開催ヲ委員長ニ請求スルコトヲ得。
5. 委員會ハ委員半数以上ノ出席ヲモツテ構成サル。
6. 委員會ハ最高ノ審議決定執行機關トス。
7. 委員會ノ議事ハ出席人員ノ過半数ヲモツテ決ス、可否同數ナルトキハ議長ノ決スルトコロニ依ル。
8. 委員會ハ議長ヲ選ビ議事ヲ審議決定ス。
9. 委員會ハ委員長及副委員長ヲ選出ス、且ツ委員長ハ委員會ノ招集統制ノ權ヲ有ス。副委員長ハ委員長ヲ補佐ス。
10. 委員會ハ次ノ三部ニ分タル。  
編輯部、會計部、企畫部、書記局。
11. 部ニハ部長一名、副部長二名ヲモウク。但シ、部長副部長ハ委員中ヨリ任命ス。
12. 部長ハ部ノ統制權ヲ有シ責任者ナリ。
13. 臨時緊急ノ必要アル場合ニシテ委員會ノ可決ヲマタズシテ遂行セシ各部ノ事業ハ次回ノ委員會ニ報告シ、ソノ可否ヲ問フコト、ソノ場合ノ事業ノ責任ハ該部部長ニアリ。
14. 部ハ委員會ニ提案事項ヲ提出スルコトヲ得。
15. 聯盟加入學校エス會會員ハ部長トナルコトヲ得。
16. 各部ノ内部組織ハ本聯盟規約ニ反セザル範圍ニ於テ自由ニ定ムルコトヲ得。
17. 編輯部ハ各地學生エス運動ヨリノ報導ヲ整理シ „La Revuo Orienta“ ノ學生欄ヲ編輯ス。ソノ他、年二回ノ豫定ヲ聯盟ノ機關紙ヲ出ス。會計部ハ會計一般ヲ司ル。企畫部ハエス語普及ノタメノ諸事業ヲ企畫シ遂行ス。
18. 委員會ノ事務執行機關トシテ書記局ヲ設ケ記録、交渉、ソノ他ノ事務ヲ司ル。  
ノ局ノ組織ハ部ニ準ズ。
19. 聯盟參加希望ノ學校ハ代表者二名ヲ選ビ委員會ノ認可ヲ經ルヲ要ス。
20. 聯盟加入校ハ聯盟維持費五十錢ヲ毎春納入スベキコト、但シ昭和七年度ヨリ徴集ス。

## 新聞雜誌とエス語

- ★昭和青年 6・10——エス語運動シルエート——西村保男氏（本號の扉にわエス語がありエス語欄もある）
- ★法苑錄第一號——佛教關係の月刊雜誌エス語に關する記事多數、兵庫縣飾磨郡手柄村西山 法苑寺發行
- ★昭和青年 6・12——小説に出た國際語「エスベラント」——西村保男氏
- ★報知新聞 6・12・11——國際關係を顧みて——大石和三郎氏
- ★長崎の青年——Pri la kono de sangogrupo.
- ★週刊日日(長崎) 6・12・20——ザメンボフ博士降誕祭に際して(淺田氏)、生誕祭に鑑みて(辻氏)、ザメンボフ博士の傳記、萬國エス協會について(高原氏)等
- ★東北時報 9・12・20——ベンの鎚
- ★新愛知 6・12・16——名古屋に於けるザ祭
- ★京都ロータリアン 6・12・23——ロータリークラブに出席された八木日出雄氏の談話あり
- ★優生學一月號——Epizodo de Manĉuria Akcidento, Nunaj Japanujo k. Ĉinujo, La Motivo, kiu Konvertis min al Zen-Budaismo 孤雲氏、Dissekco de Kadavro 南氏エス譯
- ★La Lumo Orienta N-ro 1. 佛教エス聯盟

## —— 地 方 會 ——

- ★臺灣エス學會基隆支部(6・12・15) 山中幾三  
臺灣基隆市義重町 1 の 1
- ★宮崎エス會(6・12・15) 34 堀内恭二  
宮崎市上野町四丁目 美老園内
- ★仙臺鐵道エス會 22 平野子平  
仙臺市鐵道病院内
- ★高知エスクラブ 20 岡田逸雄  
高知市西唐人町 23
- ★訂正 大阪帝大醫學部エス會 55  
大阪市北區同校醫學部解剖教室俣野四郎

## —— 地方會機關紙 ——

- ★聯盟通信3(日本鐵道エス聯盟)。★Bulteno 1. (東北帝大醫科エス會)。★Informilo de TES (臺灣エス學會)。★La Norda Stelo 2 (金澤エス會)。★Nia Voĉo 13, 14 (仙臺エス會)。★Lumturo 2. (京都鐵道エス會)。★Eĥo 5, 6, 7 (岸和田エス會)。★Verda Kioto 7 (ベルダキヨト社)。★Biblioteko de Serpento II (セルベント會)。★Bulteno 1. (神戸エス協會)。★Sprono 1. (富山エス會)。★エス便り 2 の 1 (同志社高商)。



## 會 員 の 聲

### 會員名簿の發行について

會員名簿のことは常に凡ゆる會合で問題となり當事者におかれても既に四年に一回位の發行では不満足である事は萬々御承知の事と存じます。だからと云つて之を毎年發行する事は經費の許さざる事は之又會員各自に於て萬々承知の事である。然し乍ら不止得として之をこのまゝ放置することはエス界發展のため少からぬ障礙を及ぼすこと云ふことは我々地方會員の痛感する處である。

依つて私はその折衷案を提議して當事者並に會員各位の御賛同をえないと思ひます。即ち名簿は之を從來通り四年乃至は五年に一回位の發行に止め毎年其の年内の異動を別冊 Aldono として發行しては如何? (堀内生)

### 方面委員の設置について

年毎に同志が増すことは喜ばしい。さて R. O. の購讀者増加方法を考へる、昨年の二號六十一頁會員増加運動に關する記事の徹底だ! 先づ地方會で委員をあげ、月極讀者數を確定。學會よりその數だけ雑誌を委員は受け、配布留意すべきこと。最小限度に確實なる讀者を募ること、理由は地方委員の雑誌配布に支障なく、ほゝ笑んで配布されるから。負擔を感じては萬事休す。學會より直送出来るが委員を通じて頂戴すると斷然親しい感情が湧くだらう。集金! 局手数料を除いて送金學會から何か實行具體案の提出をお願いしては。維持員の必要は論外。(久保義郎)

◎學會より 上記二案を近く評議員會にて討議致します。皆様の御意見も一應承りたいと思います。結果や具體案は何れ誌上で。

### ★KORESPONDA FAKO★

掲載者わ必ず返事を出すこと、學會々員わ年一回無料、por neabonantoj 30 senoj unufoje, (一回 30 錢掲載雑誌呈)。L = letero, P = poŝtkarto, IP = ilustrita poŝtkarto, PM = poŝtmarko, dez. = deziras, kore. = korespondi, interŝ. = interŝangi, kol. = kolekti, E = esperantaĵo, G = gazeto, kĉl. = kun ĉiu landaj (samideanoj)。

#### Japanujo

★S-ro. Fujita-Ŝin'ičiro; Taiŝō-dōri I-27, Minato, Osaka. dez. kore. kĉl.

★S-ro. Kawamoto-Nobuyuki, zoologo; Kamisagi-no-miya 410, Nogata-mati, Tokio. dez. kore. kĉl. k. interŝ. L. P.

★S-ro. Hamada-Tamocu; ĉe Kōbe-Seikōŝō, Kobe. dez. interŝ. L. Pl. PM. kĉl.

★S-ro. Aigaŭa-Cunemoto; Jukuhaŝi-maĉi, Fukuoka-ken. dez. kore. kĉl. Mi estas komen-canto.

★S-ro. Haraki-Fumio (21-jara); Kobe-Ŝōdai-Kiŝikuŝa-nai, Kamitutui, Fukiai-ku, Kobe. dez. kore. kĉl.

★F-ino. Fukuhara-Fumiko; 1967 Fukai-mura, Senboku, Osaka. dez. interŝ. PK. IP. IG.

★S-ro. Nagaoka-Yoŝio; Taiŝō-dōri 5-117, Minato, Osaka. dez. kore. kĉl.

★S-ro. Yosii-T (studento); Takehaya 104, Koisikawa, Tokio. dez. kore. L. IP. kĉl.

★S-ro. Sha-Man'an; Tamio 671, Kagi, Formoso. dez. kore. pri kristanismo k. pedagogio.

★S-ro. Nisio-Isamu; Hataka-mati 301, Minami, Nagoya. dez. kore. kun s-inoj en Hispanujo, Francujo, k. Nederlando.

★F-ino. Satojoŝi-Ŝ. (banka oficistino); Ĉe Kangyo Ginkoo (hipotek-banko), Uĉijamaŝita, Koojimaĉi, Tokio. dez. kore. kĉl.

★F-ino. Ueda-K.; Ĉe s-ro Yamamoto, Ikebukuro 551, Tokio. dez. kore. kĉl.

★F-ino. Manzaŭa-M; Kami-jūjō 1502, Ooĵi, Tokio. dez. kore. IP.

★Hollando = S-ro. J. H. Willemssen; Zaaier-sweg 93 Huis Amsterdam. dez. kore. kun japanaj gejunuloj.

★Germanujo = S-ro. Herman Frvikirsch; Herischdorf (Rsgb.), Warmbv. Str. 111. dez. kore. per IP.

#### Hungarujo

★S-ro. Lörincz Ernő, inĝeniero; I. Albert u. 27. Budapest. dez. kore. kun japanaj inĝenieroj.

★S-ro. Szentgyörgyi László, inĝeniero; I. Albert u. 27. Budapest. dez. kore. kun japanaj inĝenieroj.

★S-ro. Taskovits László, inĝeniero; Raikos-palsta, Kassa u. 24. dez. kore. kun japanaj inĝenieroj.

★エス語に關するポスターやビラを募集す。Verda Ombro や臺灣エス學會ニュースの殘本を送る。臺北市永樂町 5-287 連溫郷



# エスぺラント初等讀物

小野田幸雄

## Lernanto kaj liaj bezonaĵoj

La lernanto bezonas librojn por legi kaj por lerni la lecionojn. Li bezonas kajeron, plumon kaj inkon por skribi la taskojn, liniilon, ortilon kaj krajonon por desegni, gumon por forskrapi, kaj tranĉileton por tranĉi la krajonon. Sen kraiono aŭ sen plumo kaj inko oni ne povas skribi. Li bezonas krom tio sakon aŭ paperujon por porti la librojn, la kajerojn kaj ĉiujn aliajn lerneajn objektojn.

Sed tio ne estas ĉio. Li bezonas ankoraŭ, kaj precipe, du bonajn orelojn, du bonajn okulojn kaj unu bonan langon por aŭskulti, por vidi kaj por respondi.

〔解説〕 先づ表題から見てゆく。lernanto は anto で終つてゐるので lern+ant+o であらうと考へ、lerni が「學ぶ」であるから「今現に學びつゝある者」、「毎日學問してゐる者」、「學生、學徒」と解決が付く。然し普通此の語は小學、中學、女學等の「生徒」の意として用ひられてゐる。即ち生徒は學ぶ者だが學生、學徒は學ぶのではなくして研究する者だからとの理由からである。實際の處は怪しいものだが。bezonaĵo は語尾 aĵ に眼を付けば bezoni が「必要とする」であるから「必要な物、必需品」と解かる。

本文を一語一語見てゆく。la lernanto の la はいきなり出てゐるもので此處では特定を示すのではなく一般の意である。即ち「生徒たる者は」位の語氣。す

ーツとゆくと por legi, por lerni と出る。そこで此れを對句と見れば文脈は

....librojn { por legi  
                  kaj  
                  por lerni } la lecionojn

となり意識的にはつきりとする。簡単な文でも初學の間は成るべく一度は斯様にして見る事が有効である。前置詞 por が動詞の前に在るのは變に思へるかも知れぬが、此等の動詞は不定法と呼ばれるもの、即ち讀んで字の如く名詞にも形容詞にも副詞にも又本來の動詞にも用ひられる云はゞ住所不定の動詞であるから今の場合は名詞として使はれたと思へばよい。

次の文に移る。此れは中々込み入つてゐるから落付いて讀んでゆく。先づ li は lernanto を指すものと考へてすーツとゆくと por+不定法の形が四個所に出て来る事に氣が付くであらう。これさへ解ればしめたものだ。此の四個を對句として文脈を立てれば

Li bezonas { kajeron,  
                  plumon } por skribi la taskojn,  
                  kaj inkon  
                  liniilon,  
                  ortilon } por desegni  
                  kaj krajonon  
                  gumon por forskrapi,  
                  kaj  
                  tranĉileton por tranĉi la krajonon.

tasko (課業)を書くと云ふのは一寸變だが(前の legi, lerni lecionojn も同様。)要は意が通じさへすればよいのであるか



ら「課業として行ふ事に關する種々の事柄」等とくどくどしく云はなくてもよい。liniilo は linio が「線」, linii が「線を引く」である事から「線を引く道具、定規」と解り、又 ortilo は orta が「直角の」であるから「直角定規」と解決が付く。trancileto は trancilo の eta なの。desegni, forskrapi が解らずとも急いで辭書を牽く必要はない。desegni は liniilo, ortilo, krajono から察して罫や圖を引く事, forskrapi は for + skrap + i と考へ gumo と兩々相照し合せ考へる事に依り消す事と想像される。實に desegni は圖を引くであるが、鉛筆畫、木炭畫、墨畫等を畫くのも desegni である。此れに對し繪具を用ひて畫くのは pentri. skrapi は「削る、剥ぐ」である。ゴムで「消す」は紙等の面を薄く剥ぎ取る事。従て消しゴムは skrapgumo. 然し火、燈火等を消す estingi と混同せぬ様御注意肝要。forskrapi の for は「剥ぎ取る」の「取る」の感じ。

次に進んで後の sen は plumo と inko の兩方に掛る事を注意する。plumo にだけ掛けるとベンケイガナ、ギナタ、ヲモツテ式に讀む事になる。oni は一般人を指す。次の文では krom tio に眼を付ける、其の他とはどの他か、即ち前に述べた諸道具の他である。本文の文脈は

Li bezonas (krom tio) { sakon  
aŭ paper-  
ujon }

por porti { la librojn,  
la kajerojn  
kaj ĉiujn aliajn lerne-  
jajn objektojn. }

paperujo は papero の ujo, 即ち紙挿み。

次の文の tio も前の tio と同じ意味。Li 以下の文を見てゆくと ankoraŭ, precipe と副詞が二つあり次に du, du, unu, 及 por, por, por がある。そこで此等をも亦對句と見て文脈を整理する。

然して, oreloj と aŭskulti, okuloj と vidi, lango と respondi との關係を考へれば次の様な文脈である事は容易に氣が付くであらう。即ち

Li bezonas { du bonajn orelojn,  
du bonajn okulojn  
kaj  
unu bonan langon }

{ por aŭskulti,  
por vidi  
kaj  
por respondi }

por を一つだけ使つて por aŭskulti, vidi kaj respondi でも良いのであるが本文の方が意味は強くなる。又 kaj precipe の kaj も強意に對し十分の効果を發揮してゐる。

leciono 授業。kajero ノート。sako 袋、カバン、サック。porti 運ぶ。ankoraŭ 尙ほ。precipe 特に、就中。aŭskulti 聽く。respondi 答へる。

〔參考〕 leciono と tasko の區別。日本の辭書には何れにも「課業」と云ふ譯が這入つてゐるが、前者は教師が生徒に教へると云ふ方から見た「課業」、後者は生徒が教師から與へられた「課業」其他、日課、作業。

aŭdi と aŭskulti の區別。aŭdi は自然と耳に入り來つた音をきく事。aŭskulti はきかんとして耳を敬てる事。

【譯】 生徒と彼の必要品 生徒は授業を受ける爲に書物を必要とする。彼は課業を書く爲、ノート、ペン、インキを、線を引く爲に直線定規、直角定規、鉛筆を、消し取る爲にゴムを、又鉛筆を削る爲に小刀を必要とする。鉛筆無しか或はペンとインキ無しでは書けない。彼は其の他、本、ノート、及其の他の總ゆる學校での品を持つて行く爲にカバンや紙挿みを必要とする。

然し其れが總てではない。彼は尙ほ、然も特に、二の良き耳と二の良き眼と一つの良き舌とを必要とする——聽く爲、見る爲、答へる爲に。



# 日、月、星 辰

—— 初等エス作文の練習 ——

小 此 木 貞 次 郎

天高うして日月懸り、地厚うして山河横はる。地上に立つて高い自然の圓屋根を仰げば、四季を通じ日月星辰は悠久の姿を以て過去から未来へと宇宙の大法則に従つて運行を續けてゐる。遠き古代原始人が遊牧の方角を太陽や星に定め、土着して農業を営むに至ると暦を作り、種蒔、收穫の時期を知るのを皆之等に求めた。そして一面バビロニヤ其の他地中海沿岸の地方に於て清澄な空氣は夜の星空を神秘的宗教の殿堂と化した。今私達はそれと變らぬ日月星辰を日常生活の手近に呼んで來てエス作文の練習を試みよう。

太陽は東に上り、西に沈む。

太陽 la suno. 太陽や月などは、吾々にとって誰にも共通に了解されてをるもの故 la を附す。東に、西に, en la oriento, en la okcidento, 東からと特に云ひたい時は de la orienta horizonto などと云ひ得る。上る leviĝi (sin levi) が最も一般的でせう。沈む subiri, subiĝi, malleviĝi などある。すると全文は

La suno leviĝas en la oriento, kaj subiras en la okcidento.

kaj の次に ĝi (la suno を受けて) を書いてもよい。

太陽が上ると朝です。太陽が沈むと夜です。

上るとのとは上つた時にはの意味ですから kiam といふ關係詞を用ひることは誰も知つてをる。朝ですといふ場合エス

語では英語や獨逸語にあるやうな天候や時間を表す主語 it や es を用ひない。無主語で estas mateno でよい。又は fariĝas mateno. 日本語で夜といつてもエス語では vespero と nokto の二つあるのに御注意肝要。vespero は大體太陽が沈んで、一般の人々が寢に就くまでの時刻をいひ、nokto は人々が寢につき再び太陽が出る頃まで。だからこの場合 vesperoの方が適當。尤も tago と nokto と一日を二つに分けて考へれば nokto を用ひられないこともないが、かゝる場合には……, venas nokto. といった具合にした方がよからう。譯文は

Kiam la suno leviĝas, estas mateno. Kiam la suno subiras, fariĝas vespero.

地球は太陽の周圍を廻轉する。

ガリレオが法王の前で秘に呟いたルネッサンスこの方地球が太陽の周圍を自轉しつつ公轉することは萬人の常識。地球 la tero. ~の周圍を廻轉するは moviĝas ĉirkaŭ~, (ĉirkaŭ)iras ĉirkaŭ~, rondiras ĉirkaŭ~.

前置詞 ĉirkaŭ をやめて ĉirkaŭmoviĝas, ĉirkaŭiras ~-n と書ける。

La tero iras ĉirkaŭ la suno.

月は夜輝き、晝間は輝きません。

月 la luno. 輝く brilas, lumas.

La luno lumas en la nokto, kaj ne brilas en la tago.



月は非常に美しくまるで銀盤のやうだ。

美しい *bela*. まるでは恰も、丁度、例へてみればと同じく *kiel*, *kvazaŭ* を用ひたらよい。銀盤 *arĝenta disko*.

*La luno estas tre bela, kaj ĝi estas kvazaŭ arĝenta disko.*

月はまともに見ることが出来る。  
何故なら月は太陽程輝かないから。

眞向に見る *vidi rekte* (*rigardi*) この文は *luno* を主語として受身の形でも書けるが、こんな場合は *Oni*, *Vi*, *Ni*, 一般的人稱代名詞を使ふ。*A* は *B* ほど〜ない *A ne tiel ~as kiel B.* (動詞形) *A ne estas tiel ~a kiel B.* (形容詞形)

*Oni povas vidi rekte la lunon, ĉar ĝi ne estas tiel brilanta kiel la suno.*

星が澤山夜の空に輝いてゐる。

星 *stelo*, 一般的にといふ意味で複數にして *la steloj* として使へる。星が澤山 *multaj steloj*, *multe da steloj*, 夜の空に *en la nokta ĉielo*. 従つて

*Multe da steloj brilas en la nokta ĉielo.*

星は小さく見えるが實際は非常に大きいのです。星は餘り遠くにあるので大きく見えないのです。

見える *vidiĝas*, *aspektas*, *montriĝas*, 實際は *efektive*, 餘り〜でない。の形は *esti tro ~ por* — といふ風に書くことも出来る。遠くにあるは *estas*, *staras*, *malproksime* 等。

*La steloj aspektas malgrandaj,*

*sed efektive ili estas tre grandaj; ĉar ili staras tro malproksime de ni por vidiĝi grandaj. (Mi ne povas vidi ilin grandaj, ĉar ili staras tro malproksime de ni).*

遠くにあるといふのは「観察者より」「見てゐる吾々から」の意味ですから *de ni* の如き句を入れれば一層分りよい。

以下題目に因んだ練習問題を掲げます。解答は色々に書けますから、種々御研究下さい。下の譯例はその一つの書き現し方に過ぎないことをお忘れなく。(練習にはすぐ筆をとらず先づ全體を頭の中で考へ、之を口に出して云つてみて、それから紙に書くこと)。

1. 太陽が山の上にかゝつてゐる。
2. 朝、目が醒めると日光が室の中に流れこんでゐた。
3. 月は雲に隠れてゐる。
4. 北極星は常に北の空に輝く。
5. 西の空に宵の明星がキラキラ輝いてゐる。

〔語彙〕(日、月等が) かゝる *pendi*, *stari* 等。日光 *sunlumo*, *sunradio*, *sunbrilo*. 流れる *flui*. 北極星 *la polusa stelo*. 宵の明星 *la vespera stelo* = *la Venuso*. キラキラ輝く *brileti*, *trembrili*.

〔譯文一例〕

1. *La suno pendas super la monto.*
2. *Vekiĝante en la mateno mi trovis sunradiojn fluantaj en la ĉambro.*
3. *La luno estas malantaŭ nubo.*
4. *La polusa stelo ĉiam briletas en la norda ĉielo.*
5. *Sur la okcidenta ĉielo briletas la vespera stelo.*



# LA LUNO SUPER LA KASTEL-RUINOJ

(荒城の月)

Kanto de Bansui Cuci

Trad. K. Osaka

Ĉe prin-tem-pa flo-ra bal' en kas-tel-lo-ĝi' En le-va-la or-po-kal' spe-gu-li-ĝis vi.  
 はるこころの はなのえん めぐるさ かづき かげさして  
 Kaj fi-e-re su-per pin' ti-am bri-lis vi, — Ta-men nun re-vi-di ĝin ki-e po-vas ni?  
 ちよのまつかえ わけいでし むかしの ひかり いまいつこ

## I

Ĉe printempa flora bal'  
 en kastel-loĝi'  
 En levata orpokal'  
 speguliĝis vi,  
 Kaj fiere super pin'  
 tiam brilis vi,—  
 Tamen nun revidi ĝin  
 kie povas ni?

## II

En aŭtuno ĉe l' tendar'  
 blanka frostis ter',  
 For kun krio anserar'  
 flugis en aer',  
 Brilis ĉies lanca kling'  
 lume ja pro vi,—  
 Tamen nun revidi ĝin  
 kie povas ni?

## III

Super la kastel-ruin'  
 vi lumadas nun,—  
 Temp' ne tuŝis sole vin,  
 ho, eterna lun'!—  
 Ĝin ornamas nur heder'  
 sur ruina mur',  
 Harpas ĉe la konifer'  
 vane vent-murmur'.

## IV

En la regno de ĉiel'  
 ŝanĝas sin neni',  
 Pasas la feliĉo, bel',  
 ĉio for ĉe ni.  
 Kiel atestanto do  
 ĉu vi staras nun  
 Super la ruinoj, ho,  
 fierega lun'?

[直譯] I. 春の花の夜會に城の樓臺  
 に於て、擧げらるゝ (lev'ata) 黄金の酒  
 杯 (or'pokalo) の中に汝は姿をうつした  
 (spegul'iĝis), そして松の上に誇らかに  
 汝は其時輝いてゐた、——だけどそれを  
 今何處に再び見ることが出来ようか?

II. 秋、陣營 (tend'ar'o) に於て地面は

ま白く凍つてゐた (blanka frostis), 啼  
 き乍ら雁の群 (anser'ar'o) は空中を飛び  
 去つて行つた (for flugis), 皆の槍の刃  
 先 (kling'o) は汝の光を受けて (pro vi)  
 明るく輝いてゐた、——だけれどそれを  
 今何處に再び見ることが出来ようか?

III. 城の殘墟の上に今汝は照りつゞけ



てゐる、——時はお前だけを(sole vin) 觸れなかつたのだ、永遠の月よ！——残墟を飾つてゐるのは崩れ壁の上の葛だけだ、松に當つて風のさゝやき(ventmur-mur'o) のみが琴を奏なでゝゐる。IV. 天の國に於ては何も(neni'o) 變る(šan-gas sin) ものではない、吾々の處(此の世)では幸福、美、すべてのものが過ぎて行く。依て證人として(昔の事を見て知つてゐる人として) お前は今廢趾の上に出てゐるのか、おゝ、誇らしい(fier'ega) 月よ。

〔註〕 bal', loĝi', orpokal' 等は前號にも述べた通り名詞(單數主格)の語尾-o を elizii したもの、此の場合揚音は原位置に在る、例へば orpokal' では -al' に揚音。第一行の ĉe, 第二, 三行の en, 第五行の kaj, 第四行の speguliĝis の spe- には flankaj akcentoj をつけて讀む。即ち此の詩の ritmo は奇數行は ' - ' - ' - ', 偶數行は ' - ' - ' - '. 此の如く一揚音に一無揚音がつゞくものを trokeo (揚抑格) と云ふ(エスペラント捷徑 p. 139 参照)。音符と歌詞とを比べてみると音符の線で區切られた各區劃(音節)の始めは必ず歌詞の揚音になつてゐる。音曲ある歌詞を譯する場合には曲符に就て揚音の位置を定めねばならぬ。さもないと詞が曲とそぐはなくなる。

Balo 夜會, 舞踏會(festeno を用ひてもよい處なれど ritmo と rimo のため bal' を用ひた)。

Loĝio 劇場の壁で小區劃に仕切られた棧敷(特別席); 建物の露臺になつてゐるおばしま。

Pokalo 酒盃(普通臺なし), kaliko 脚

臺(piedo) のついた酒盃(優勝カップなどは此の類), glaso 一般に水でも酒でも, ビールでも入れるコップ, グラス(脚臺あるも無きもあり) glaseto リキュールなどのむ小さい脚付のグラス。

Spegulo 鏡, speguli (物の姿を)うつす, spegul'igi=sin speguli 姿をうつす, (鏡に)うつる。

Tendo 天幕(テント), tend'aro 幕營。Tento は『誘惑』。

Ansero (家禽の) 鵞鳥, (野生の) 雁。(Dom-)ansero 鵞鳥, sovaĝa ansero 雁。Anaso 家鴨, sovaĝa anaso 鴨。

Klingo 刃。Razil-klingo カミソリの刃。

Sola 唯一の, たゞひとりの; sole 唯……のみ(=nur); soleca 淋しき。比較(Sole ŝi ploris. 泣いてのみ居た  
Ŝi ploris sola. 獨りで泣いてゐた)

II の二行 Blanka frostis (la) tero も後者と同一の用法: tero (名詞)が白いので, frosti し方が白いのでないから形容詞を用ひる。(エス捷徑 p. 127 参照)。

Konifero は pino, abio 等松柏樹の汎稱。茲には前述の pino を指す。

Neni' は nenio の elizio; 本來 nenio, ĉia, ties 等の neni', ĉi', ti' は語根でない故 elizii 出来ぬ筈なれど neni' のみは便利であるから語根扱ひにすることあり: neni'igi 無にする。然し ĉio, tio, kio 等は ĉi', ti', ki', 等と elizii せぬ習慣なり。

Ŝanĝi (物を)變(か)へる; sin ŝanĝi=ŝanĝ'igi 變はる。



# 各團體へ急告

## JARLIBRO の材料として 地方會の状況 報知を乞ふ

本年は Jarlibro を出したいと思ひますが、從來の會員名簿式の型を脱して、今度は UEA の Jarlibro の様に（少しは違ふが）各地の地方會（學校、官廳、會社等の grupo, rondo, klubo 等を含む）を基準にした地方會名簿を主としたものにしたと思ひますから、下記の事項を至急當學會内「年鑑係」宛御送附下さい。

Jarlibro は材料の集り次第出版したいつもりです。回答期限（遅くとも）2 月 20 日迄。

1. 會の名稱。 2. 會の事務所所在地。 3. 會の役員名（會長又は幹事の住所を明記するゝ方可）。 4 會合日時（回数等）。 5. 會合場所。 6. 會の機關誌。 7. 會主催の各種催等（？）

財團 日本エスペラント學會  
法人

## Ŝtala Biblio de Samurajismo



武士道刀鑑劍

露木清彦著

定 價  
送 料  
2 15  
錢 錢

昨年レヴオに連載好評を博したものの。武士道「興亡」に伴奏する日本刀の盛衰史、その鑑別、刀鍛冶の流派等等、興味深々。装幀瀟洒。有意義なこの原作をぜひ！

東京市牛込區  
新小川町3の15

財團 日本エスペラント學會  
法人

電話牛込(34) 5415 番  
振替口座東京11325 番



## 洋書短期特賣

別項(本誌 66 頁)記載の通り、爲替相場變動のため止むを得ず、廣範圍に亘つて洋書の値上をし、新定價の圖書目錄を發行、本誌と同封お送りしましたが、舊相場場で仕入れた在庫が幾分ある下記の洋書に限り、次の條件で特賣致します。

★この特價洋書は本會會員に限り提供、會員外の方からは新定價を申受く。

★締切期日を定めず、舊相場仕入品賣切れ次第漸次新定價に復す。

★一種類なるべく一人一冊宛。一種類を多數纏めての注文には應じ兼ねるこゝあり。

★御注文品賣切れの場合の代品をあらかじめ御指定願へれば幸いです。

——部數に限りあり、好機は再び來らず、即刻御注文あれ——

|                                               |                                      |                                             |                                |
|-----------------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------------|--------------------------------|
| Aelita.....                                   | 上 2.50 (6) 並 1.70 (6)                | Laborista Esperantismo.....                 | 0.20 (2)                       |
| Aspazio .....                                 | 0.80 (8)                             | Laborkajero al Petro.....                   | 0.18 (2)                       |
| Bibliografio de Internacia Lingvo.....        | 5.00(21)                             | Lastaj Tagoj de Zamenhof .....              | 0.65 (2)                       |
| Bulgara Antologio.....                        | 1.50 (6)                             | Leipzig .....                               | 0.25 (2)                       |
| Bulgara Lando kaj Popolo .....                | 1.20 (2)                             | Leono de Flandrujo ...                      | 上 3.30(18) 並 2.80(18)          |
| Deutsch-Esp. Wörterbuch .....                 | 6.50 (8)                             | Maro.....                                   | 1.85 (6) Milano ..... 2.30 (4) |
| Devi Angreni .....                            | 0.50 (2)                             | Oriento.....                                | 1.85 (6)                       |
| Du Majstro-Noveloj...上                        | 2.10 (6) 並 1.25 (4)                  | Per Balono al Po'uso .....                  | 4.60(18)                       |
| Du Rakontoj .....                             | 0.30 (2)                             | Protokolo de X-a Kongreso de SAT...         | 0.40 (2)                       |
| Cours Methodique .....                        |                                      | Pro Iŝtar.....                              | 2.60 (8)                       |
| Grammaire Complète .....                      | 0.45 (4)                             | Saltego trans Jarmiloj .....                | 1.80 (8)                       |
| Thèmes ...                                    | 0.45(4) Versions..... 0.45 (4)       | Se Grenereto...3.00 (6)                     | Tajdo, La... 0.65 (2)          |
| Eŭgeno Onegin .....                           | 1.50 (4)                             | Urso - En Montoj .....                      | 0.25 (2)                       |
| Filatera Terminaro.....                       | 0.60 (2)                             | Vade-Mecum Internacia Farmacio ...          | 2.20(18)                       |
| Galerio de Zamenhof.....                      | 0.55 (2)                             | Vila Mano.....                              | 上 3.30 10) 並 2.50(10)          |
| Halka .....                                   | 0.45 (6)                             | Biblioteko Tutmonda .....                   |                                |
| Historio de Esp....上製 I. 1.30(4), II. 3.10(6) |                                      | 各號 0.25(2) 倍號 0.50 2) 三倍號 0.75(4)           |                                |
| III.....                                      | 0.90 (4) Idoj de Orfeo..... 2.30 (8) | 10, 11/12, 13/14, 15-17, 18/19.             |                                |
| Imperiestro kaj galileano .....               |                                      | Esperanta Biblioteko Internacia .....       |                                |
| .....                                         | 上 3.30(18) 並 2.80(12)                | .....                                       | 各號 0.18 (5) 倍號 0.36 (2)        |
| Jarmiloj Pasas.....I. 4.40(27)...             | II. 4.10(27)                         | 2, 14/15, 18, 22, 24, 25, 26, 27, 28, 32.   |                                |
| Kaatje .....                                  | 0.80 (6) Kandid .....                | Internacia Mondliteraturo.....              | 各號 0.65 (2)                    |
| Kompleta Gramatiko.....                       | 上製 3.30(10)                          | 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 13, 14, 15, 16, 17, |                                |
| Kristanismo kaj Patriotismo.....              | 0.60 (4)                             | 18, 19, 20, 21.                             |                                |

## 新着★再着★洋書★案内

下記の洋書が最近多數入荷致しました。何れも好評噴々、學會へ來られた方がごんごん買つて行かれるので、中には殘部が少なくなつたのもあるくらゐです。

- ★Antaŭen, al Batalo kaj Venko. 第4回 IPF 大會の宣言書..... 0.03 (2)
- ★Bolŝeva Komuno de OGPU. Soveto 不良兒教育所の権略..... 0.15 (2)
- ★Decida Jaro. 社會主義建設にまつてのそれは?..... 0.25 (2)
- ★Eklezio kaj Oktobra Revolucio. 宗教は労働者の敵..... 0.15 (2)
- ★En la Lando de Hindenburg. 「民主主義」獨逸の正體は?..... 0.60 (2)
- ★Edinburgh - Esp. Vortaro 増補改訂 1.25 (4)

- ★Esp-ista Traktoro. 勞農露國建設に参加した他國プロ Esp-istoj..... 0.13 (2)
- ★Fervojstacio Znamenka. 革命途上の赤い戀の悲劇..... 0.13 (2)
- ★Financa Kapitalo en Papa Mantelo. 羅馬法皇の逸樂生活と「神聖」の假面..... 0.30 (2)
- ★Fundamento de Leninismo. Sverdlova 大學に於け Stalin の講義録..... 0.75 (2)
- ★Himno, La. 白色テロ國労働者の闘争..... 0.30 (2)
- ★Kapitalista Sklaveco kaj Socialisma Labor-organizo. その相違は?..... 0.15 (2)



★Moralo Religia kaj Moralo Proleta. プロレタリアの行くべき道は…… 0.28 (2)  
 ★Morto de Janulans. 赤衛軍闘争挿話…… 0.15 (2)  
 ★Nia Gvidanto. 各方面から Lenin を描く…… 0.28 (2)  
 ★Pri Religio. 社会主義と宗教の関係 0.0 (2)  
 ★Problemo de Laborista Esp-ismo. 眞のプロ国際主義は? (Lanty を論難 …… 0.40 (2)  
 ★Ruĝa Aŭroro. 闘争精神に燃える原作詩…… 0.40 (2)  
 ★Ruĝa Talko. 最初の Soveto 誕生物語…… 0.15 (2)  
 ★Septembro. 農民の叛逆と流血の抑圧(詩)…… 0.15 (2)  
 ★Kaŭkaza Militkaptito. 杜翁短篇 …… 0.15 (2)  
 ★Kiel Venkis Esp. 勝利の眞因…… 0.25 (2)  
 ★Kiel Firmiĝas Kolĥozo "La Vojo de Lenin" 農村 Soveto の組織と発展…… 0.25 (2)  
 ★Kiel mi Lernis. Gorkij の少年時代 0.15 (2)  
 ★Kiel ni Konstruas Socialismon. 社会主義建設は如何にしてなされるか…… 0.08 (2)  
 ★Kulturo Nacia kaj Internacia. 第16回全露共産黨大會報告と決議…… 0.15 (2)  
 ★Kvinjaro de sovetlandoj. 革命を永久傳へるに貴重な寫眞多量挿入…… 0.75 (4)

★Sieĝo de Sebastapolo. 杜翁の傑作 0.25 (2)  
 ★Socialismo. 熱血迸る勞農詩集 …… 0.30 (2)  
 ★Tiel estis en la Jaro 1915. 大戦中に突如勃發した一大ストライキ…… 0.15 (2)  
 ★133 Tagoj. 勞農ハンガリアの自己批判…… 1.50 (4)  
 ★Vagabondo kaj Sinjorino. 百萬の讀者を熱狂させたドイツの小説のエス譯…… 2.40 (6)  
 ★Universala Esp. Lernolibro. 外國語素養のある講習生に好適……  
 …… I. 1.20 (4), II. (教師用) 0.90 (2)  
 ★Vojo, La. ザ博士原作詩集譜…… 0.10 (2)  
 ★Espero, La. エス聖歌の譜(marŝo) 0.15 (2)  
 ★S-ro Tadeo. 詩聖の最人傑作、巨匠一代の名譯…… 3.90(10)  
 ★Estu Homo. Charles Wagner 人生論…… 0.75 (4)  
 ★Lingvo, Stilo, Formo. レヴォー月號川崎氏記事參照あれ近來の好著…… 1.90 (4)  
 ★Streĉita Kordo. 現役エス詩界の第一人者 Kalocsay の原作詩集…… 2.50 (6)  
 ★Rimportreto. 一月號川崎氏記事參照…… 1.90 (4)  
 ★Radinaĵ-Stenografio. エス語に應用された實用速記術…… 0.35 (2)  
 ★BES-a Adresaro (1931 年版). 海外同志との文書希望の方は是非御利用を…… 0.50 (2)

東京市牛込區  
新小川町3の15

財團 日本エスペラント學會  
法人

電話牛込 (34)5415 番  
替口座東京 11325 番

Kunowski 教授の國際速記法：日本語版

## 日本語速記術——附録エスペラント速記法

大場 格 著 定價 35 錢 送料 2 錢

大西教授の手紙より：簡明にして何人にも理解され易いよい御構想です、……從來多少のぞきました日本式の字母に比べて數も少く、連筆も一層便利である様に感じます、……之が廣く行きわたり、世を益するやう切望に堪へません……。

發行後二ヶ月も経たない内に、既に學習者の方々から正確な速記文字で書かれたエス文の書信を受けてをります。

發行所

國際速記研究會

取次所

財團 日本エスペラント學會  
法人



# カムフラード

誰にもおぼえられる萬國共通の言葉  
 エスペラントで全世界の兄弟と手を握らう！  
 面白くてよくわかる労働者の語學雜誌

出 夕！  
 2 月 號

ドイツ労働者の一日(グラフと文) .....  
 エスペラント・ローマ字提唱.....林 春 夫  
 どうして仲間をつくるか .....M . M . 生  
 言語委員會について .....

|                             |                                |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 講 座                         | 德 永 直・豊 年 飢 饉(エス譯).....中 垣 虎 兒 |
| ★ ヴォラビュク語の話.....高 木 直       |                                |
| ★ エスペラント初等講座(5).....河 野 直   |                                |
| ★ キムとローザ(中等講座)(5).....高 木 直 |                                |
|                             | 弘 道 弘 郎                        |

ボエウ編 1932年度版  
**エスぺラント日記** (定價五〇セシ  
 郵税四セシ)

いろいろな障害のためのびくになつてゐる本日  
 記も、一月末いよいよ四六版豫定以上の内容で出  
 る！ 即刻求めよ！

Unu jaro de senlaboreco(入選自由作文)  
 TRA LA LANDO(時文研究)  
 El unu ĉelo fariĝas homo(卵細胞から人間まで—  
 自然科学の常識)  
 HUMORO  
 會話の教室  
 俺たちの字引 (プロレタリア日用語と満洲事變主  
 要人物地名辭典)  
 新刊紹介  
 作文添作及び募集  
 工場農村から  
 カマラード  
 エスペラント運動ニュース

1 冊 2 0 セ シ (郵税2銭)

發 賣 所 東京市神田區一ツ橋通 9  
**鐵 塔 書 院**  
 振替東京13789

發 行 所 東京市神田區北神保町11  
**日 本**プロレタリアエスペランティスト**同 盟**  
 ボエウ圖書部 振替東京66230



財団法人 日本エスペラント學會發行圖書其他

|                |                         | 價目                   | 送料 |
|----------------|-------------------------|----------------------|----|
| エスペラント捷徑       | 最新最良の獨習書……………           | { 上製 1.00<br>並製 0.50 | 4  |
| エスペラント講座       | 外國語を知らぬ人の獨習講義録……………     | 0.50                 | 4  |
| 新撰エス和辭典        | 語數一萬五千餘、譯……………          | { 並製 0.60<br>上製 0.80 | 2  |
| エスペラント講習用書     | 語正確、索出至便……………           | 0.30                 | 2  |
| エスペラント短期講習書    | 文法教科書と讀本とを兼ね……………       | 0.20                 | 2  |
| エスペラント初等讀本     | 大きな活字で要領よく編輯した……………     | 0.30                 | 2  |
| エスペラント中等讀本     | 挿繪入程度低く小中學生にも適す……………    | 0.30                 | 2  |
| ザメンホフ讀本        | 興味深き讀み物數十篇を収む……………      | 0.30                 | 2  |
| イソツプ物語         | ……………全3巻、各巻 0.20 (2) 合巻 | 0.50                 | 4  |
| エスペラント發音研究     | 脚註付、講習讀本並に獨習好適……………     | 近 刊                  |    |
| 點字エスペラント文法と小辭典 | エス語發音上の疑問を氷解す……………      | 0.30                 | 4  |
| エスペラントやさしい讀み物  | 盲人用獨習書兼字引……………          | 1.00                 | 6  |
| 愛の人ザメンホフ       | 笑話廿二篇を對譯詳註し興味横溢……………    | 0.10                 | 2  |
| リングヴィ・レスポンドイ   | エス語創案者ザ博士の傳記……………       | 0.80                 | 6  |
| エスペラントの鍵       | ザ博士の言語上の解答を蒐む……………      | 0.50                 | 4  |
| 歐羅巴親類巡り        | 文法及三千五百語を含む小辭典宣傳用……………  | 0.05                 | 2  |
|                | エス語のみでの世界旅行記……………       | { 上製 0.95<br>並製 0.85 | 8  |

~~~~~ エスペラント對譯詳註叢書 ~~~~~

|              |                         |      |   |
|--------------|-------------------------|------|---|
| 1. マテオ・ファルコネ | 「カルメン」の作者メリメエの名篇……………   | 0.35 | 2 |
| 2. ハイネ詩集     | 情熱詩人ハイネの詩數十篇……………       | 0.40 | 2 |
| 3. 覺法        | ザイデルの爐邊物語中の一篇……………      | 0.40 | 2 |
| 4. 代理通譯      | 一幕物抱腹絶倒さす程の大滑稽劇……………    | 0.40 | 2 |
| 5. 愛ある處神あり   | 杜翁の短篇。附録「エス學習書籍解題」…………… | 1.50 | 6 |
| 6. レイモント短篇集  | 「農民」で有名な波蘭文豪レ氏の短篇……………  | 0.40 | 2 |

~~~~~ エスペラント書き日本叢書 ~~~~~

|               |      |   |               |      |   |
|---------------|------|---|---------------|------|---|
| 骸骨の舞跳……………    | 0.40 | 2 | 惜みなく愛は奪ふ…………… | 0.75 | 4 |
| 倫敦塔……………      | 0.15 | 2 | ベルダ・カルト……………  | 1.00 | 4 |
| ガラシヤ……………     | 0.20 | 2 | 綠葉集……………      | 近 刊  |   |
| 霧の中……………      | 0.15 | 2 | 日本民族の起原……………  | 0.10 | 2 |
| 中村精男博士遺稿…………… | 近 刊  |   | 日本刀劍鑑……………    | 0.15 | 2 |

|                     |                                  |      |             |
|---------------------|----------------------------------|------|-------------|
| エスペラント單語カード         | 七百二十語に一々用例を示す……………               | 1.70 | 12          |
| エスペラント文例集           | カードと同一内容の本……………                  | 1.00 | 6           |
| エス演說會話レコード          | 小坂氏吹込兩面……………                     | 1.20 | 40 (内地外 80) |
| Espero, Tagiĝo レコード | 獨唱、兩面……………                       | 1.50 | 40 (内地外 80) |
| エスペラント便箋            | 正百枚一冊……………                       | 0.20 | 4           |
| エスペラント封緘紙           | 八十枚入一袋……………                      | 0.20 | 2           |
| 日本風景風俗エハガキ          | 四枚一組三色刷エス説明入……………                | 0.10 | 2           |
| エスペラント手拭            | 三越特製上等……………                      | 0.20 | 2           |
| 綠星章                 | { 甲種(安全ピン止) 乙種(背廣用) 各 (送料共)…………… | 0.30 | -           |
|                     | { 丙種(安全ピン止特製) 丁種(背廣用特製) 各……………   | 0.50 | 3           |
|                     | カフスボタン (箱入一組)……………               | 1.20 | 6           |
|                     | ネクタイピン……………                      | 送料共  | 0.30        |
| 綠星旗                 | 紙製綠地に白く「エスペラント」を抜く。十枚(郵税共)……………  | 0.15 | -           |

東京市牛込區  
新小川町3の15

財団法人 日本エスペラント學會

振替口座番號  
東京 11325 番



La Revuo Orienta—Monata Organo de Japana Esperanto-Instituto,  
Ŝin'ogaŭamaĉi III-15, Uŝigome, TOKIO, Japanujo; abono internacia 7 svis. frankoj.

我國に於けるエスペラント普及・研究・實用の中心機關

## 財團 日本エスペラント學會

東京市牛込區新小川町三の十五

—【電話牛込(34) 5415番—振替口座東京11325番】—

目 的 エスペラントの普及、研究、實用

事 業 { (a) エスペラントに関する各種の研究調査及其發表  
(b) 雜誌及圖書の刊行等  
(c) 講演會、講習會の開催及後援  
(d) 其他本會の目的を達成するに必要と認むる事業

尙ほ本會に関する詳細及び本會發刊書並に内外エスペラント圖書目錄は郵券二錢封入御申込み下さい

驚くべき廉價なる初等學習及宣傳用雜誌

## 初等エスペラント

本誌 La Revuo Orienta の初等向の頁を抜き、卷頭言等を附したもの

毎月五日發行 表紙共每號十六頁

誤らざる學習の指針——懇切なる獨學の伴侶

購 讀 料 一年分僅かに六十錢 半年分三十錢

本誌の弟分たる「初等エスペラント」を愛護して、宣傳しませう

(見本は郵券五錢封入御申込み下さい)

### 本誌購讀料 (郵税別)

|              |        |                                                         |
|--------------|--------|---------------------------------------------------------|
| 一 部          | 圓 0.20 | 圖書目錄及本會<br>の詳細に關して<br>は二錢切手封入<br>申込まれたし。                |
| 半年分          | 圓 1.20 |                                                         |
| 一年分          | 圓 2.40 |                                                         |
| 本會振替<br>口座番號 |        | { 一般 { 東京 11325 番<br>會計用 { 長野 3283 番<br>基本金專用東京 32089 番 |

昭和七年一月二十五日印刷

昭和七年二月一日發行

編輯兼  
發行人 大 井 學  
印刷人 尾 崎 獎  
(一區印刷所)  
東京市牛込區新小川町三ノ一五  
發行所 財團 日本エスペラント學會

昭和七年二月一日發行 (毎月一圓一日發行)  
エスペラント研究雜誌ラ・レヴ・オ・オリエンタ第十三号第二號

定價貳拾錢 (送料貳錢)